Panasonic®

取扱説明書　ネットワーク操作編

デジタルディスクレコーダー

品番　WJ-HD350 シリーズ

（イラストはWJ-HD350です）

はじめに

商品概要

WJ-HD350、WJ-HD350/5、WJ-HD350-W、WJ-HD350-W5、WJ-HD350/10、WJ-HD350-W10、WJ-HD309/5、WJ-HD309/10（以下、本機）をネットワークに接続すると、パーソナルコンピューター（以下、PC） にインストールされているウェブブラウザーで本機を操作したり、設定したりすることができます。
本機から操作できる機能に加えて、ネットワークを経由してPCから操作できる機能は以下のとおりです。
本機から操作できる機能について詳しくは付属の取扱説明書をお読みください。

映像のダウンロード／送信

ウェブブラウザーに表示している映像をPCのハードディスク（以下、HDD）にダウンロード（保存）できます。FTPサーバーを設定すれば、指定したFTPサーバーに映像を定期的に送信できます。また、イベント発生時にアラーム発生場所の映像を送信することもできます。

イベント通知機能

イベントが発生したとき、指定したメールアドレスに電子メールを送信して通知することができます。電子メールを送信する際、アラーム発生場所の映像を添付して送信することもできます。

ホスト認証機能

登録されていないIPアドレスからは本機を操作できないように設定できます。

取扱説明書について

本機は、取扱説明書と本書ネットワーク操作編（PDFファイル）、ネットワーク設定編（PDFファイル）の3部構成になっています。
本書は本機をネットワークを経由してPCから操作する方法について説明しています。
本機の前面にあるボタンで直接本機を操作する方法については、付属の取扱説明書をお読みください。
本機をネットワークを経由してPCから操作するにあたって必要な機能の設定方法や、機器の接続方法などについては、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。ただし、こちらは工事業者向けです。
また、本機のネットワークに関する設定は、本機が接続される社内LANやサービスプロバイダなどの設定により異なります。各ネットワークについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。
PDFファイルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のWJ-HD350、HD350とは本機およびWJ-HD350シリーズをあらわしています。
WJ-HD350シリーズにはWJ-HD309/5、WJ-HD309/10を含みます。
また、本書では画面、イラスト、説明文はWJ-HD350を例にしています。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCを推奨します。推奨外のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザーが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

OS	Microsoft® Windows Vista® 32ビット 日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP2 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2 日本語版
CPU	Pentium® 4 3.0 GHz以上
メモリ	1 GB以上（ただし、Microsoft® Windows® XPをお使いの場合は512 MB以上）
ディスプレイ	1024 x 768以上の解像度 High color(16ビット)以上の色数
インターフェース	10／100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること。
ウェブブラウザー	Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版 ※対応OSがMicrosoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版の場合、Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP2日本語版 上記以外のウェブブラウザーをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

- PCで本機を操作するためには、別途プラグインソフトウェアが必要です。プラグインソフトウェアは、ウェブブラウザーで本機に接続すると、自動的にダウンロード／インストールされます。プラグインソフトウェアを正常にダウンロード／インストールできないときは、付属のCD-ROM内のものをインストールしてください。インストールのしかたは、CD-ROM内の「readme.txt」をお読みください。

商標および登録商標について

- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows Vista® 32ビット 日本語版をWindows Vistaと表記しています。
- Microsoft® Windows® XP Professional SP2日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP2日本語版をWindows XPと表記しています。

記号について

：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。

：使用上のヒントが書かれています。

もくじ

操作画面を表示する

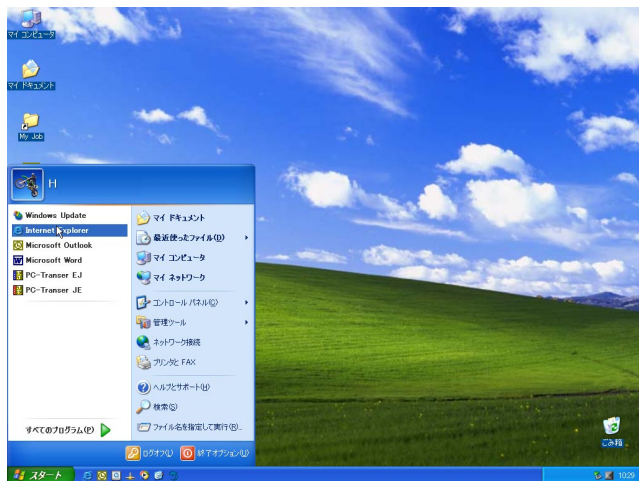
PCを起動して、インストールされているウェブブラウザーから本機を操作します。
操作画面は以下の手順で表示します。

画面1

PCを起動した直後の画面から始めます。

STEP1

ウェブブラウザーを起動します。

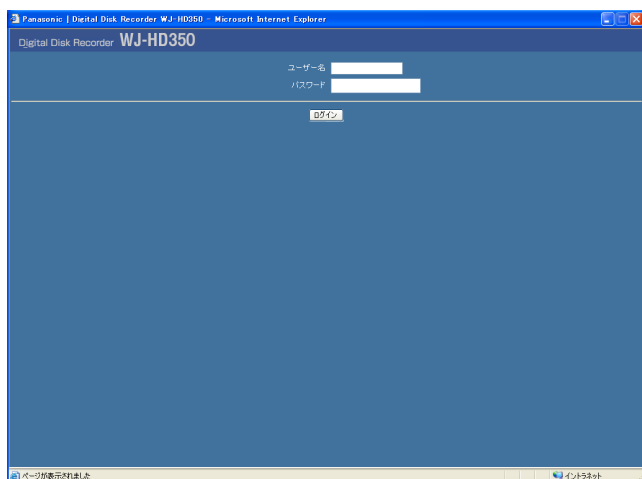
画面2

ブラウザーが起動し、設定されているホームページが表示されます。

STEP2

本機に設定してあるIPアドレス、または本機のURLを［アドレス］ボックスに入力し、ENTERキーを押します。

- 設定してあるIPアドレスについてはシステムの管理者にご確認ください。
- セットアップメニュー「通信」の「NW基本設定」にある「ホスト認証」が「ON」に設定されているとき、本機にIPアドレスが登録されていないPCから本機に接続することはできません。
  詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- IPアドレスを入力するときは、先頭に「0」を付けないでください。
  例：○　192.168.0.50
  　　×　192.168.0.050
- 情報バーにメッセージが表示される場合は76ページをお読みください。

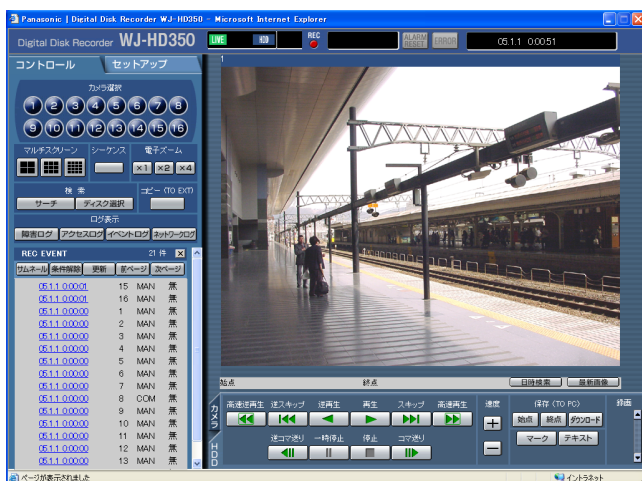
画面3

認証ウィンドウが表示されます。セットアップメニュー「通信」の「NW基本設定」にある「ユーザー認証」が「OFF」に設定されている場合、このウィンドウは表示されません。

STEP3

本機に登録されているユーザー名とパスワードを入力します。

- 設定してあるユーザー名、パスワードについてはシステムの管理者にご確認ください。
  ユーザー登録のしかたは取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。
- お買い上げ時、ユーザー名とパスワードは以下のように設定されています。
  ユーザー名：ADMIN
  パスワード：12345
- セキュリティを確保するために、ADMIN のパスワードは運用開始前に必ず変更してください。また、定期的に変更してください。パスワードの変更方法は、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

画面4

トップページが表示されます。

STEP4

ボタンやタブをクリックして、各操作を行います。

- 情報バーにメッセージが表示される場合やポップアップ表示された画面に不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される場合は76ページをお読みください。

操作画面について

トップページ

[コントロール]タブ（☞9ページ）
カメラのライブ映像の表示を他のカメラCHの映像に切り換えたり、シーケンス表示するなど、カメラ映像のスイッチャー機能に関する操作はこのタブで行います。また、各種検索結果、ログ情報もこのタブに表示されます。

[セットアップ]タブ
本機のセットアップに関する操作はこのタブで行います。セットアップメニューには簡単設定と詳細設定があります。セットアップについて詳しくは取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

ステータス表示部（☞10ページ）
録画映像の再生状況や録画状態など本機の現在の状況を表示します。

現在日時／録画日時表示部
映像表示部にライブ映像を表示しているときは現在日時、録画映像を表示しているときは録画日時を表示します。

映像表示部
ライブ映像、録画映像を表示します。セットアップ時はセットアップメニューを表示します。

再生位置操作部（☞11ページ）
再生位置を指定したり、最新の映像にスキップできます。

[HDD]タブ（☞11ページ）
録画映像の再生や映像をPCに保存するなど、録画映像の制御はこのタブで行います。

[カメラ]タブ（☞12ページ）
ズームやフォーカス、オートパンなどカメラ映像の制御はこのタブで行います。

[コントロール］タブ

[カメラ選択］ボックス
ボタンをクリックすると、選択したカメラCHの映像を映像表示部に1画面で表示します。

[マルチスクリーン］ボックス
4台～16台まで（WJ-HD309は9台まで）のカメラの映像を同時に多画面で表示します。

（4画面分割ボタン）
：クリックするたびに1－4CH→5－8CH→9－12CH→13－16CH→1－4CH・・・（WJ-HD309は1－4CH→5－8CH→9CH→1－4CH・・・）とカメラ映像を切り換えて、4画面表示します。

（9画面分割ボタン）
：クリックするたびに、1－9CH→10－16CH→1－9CH・・・（WJ-HD309は1－9CH）とカメラ映像を切り換えて、9画面表示します。

（16画面分割ボタン）（WJ-HD350のみ）
：1－16CHのカメラ映像を16画面表示します。

[シーケンス］ボックス
ボタンをクリックすると、カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。

[電子ズーム］ボックス
クリックしたボタンの倍率でカメラ映像をズーム表示します。

×1 ：1倍　×2 ：2倍　×4 ：4倍

[検索］ボックス

サーチ ：「検索方法選択」画面を表示します。録画映像を検索再生する場合に使用します。（☞25ページ）
検索結果は［ログ表示］ボックスの下に一覧で表示されます。
（☞26ページ）

ディスク選択 ：「ディスク選択」画面を表示します。再生／検索対象のディスクを選択する場合に使用します。
（☞20ページ）

[コピー（TO EXT)］ボックス
ボタンをクリックすると、「データコピー」画面を表示します。録画された映像をHDDのコピー領域または本機に接続されている外部記憶装置（DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、CD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）に手動でコピーする場合に使用します。
（☞49ページ）

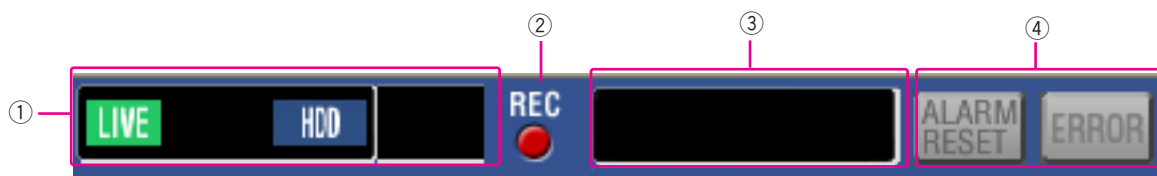
[ログ表示］ボックス

障害ログ ：本機の障害発生の履歴（発生日時、障害内容）を表示します。履歴は［ログ表示］ボックスの下に一覧で表示されます。
（☞58ページ）

アクセスログ ：本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、IPアドレスを表示します。履歴は［ログ表示］ボックスの下に一覧で表示されます。（☞60ページ）

イベントログ ：イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を表示します。履歴は［ログ表示］ボックスの下に一覧で表示されます。
（☞61ページ）

ネットワークログ ：ネットワーク障害発生の履歴を表示します。履歴は［ログ表示］ボックスの下に一覧で表示されます。（☞62ページ）

ステータス表示部

①ライブ映像／再生映像の状態を表示します。

LIVE：ライブ映像を表示していることを示しています。

SEQ：ライブ映像をシーケンス表示していることを示しています。

▶：録画映像を再生中であることを示しています。

◀：逆再生中であることを示しています。

▶▶：高速再生中であることを示しています。

◀◀：高速逆再生中であることを示しています。

II：一時停止中であることを示しています。

HDD：本機の内蔵HDDの通常録画領域または、イベント録画領域を選択していることを示しています。

HDD COPY：HDDコピー領域を選択していることを示しています。

COPY1：COPY1を選択していることを示しています。

COPY2：COPY2を選択していることを示しています。

FILTERING：録画イベントリスト／サムネールが絞り込まれていることを示しています。録画イベントサーチの絞り込みについては23ページをお読みください。

Step 1～Step 7：再生速度を示しています。
Step1：1倍速
Step2：約4倍速
Step3：約8倍速
Step4：約16倍速
Step5：約32倍速
Step6：約48倍速
Step7：約96倍速

DL：再生映像・音声をダウンロード中であることを示しています。

END：再生映像・音声のダウンロードが終了したことを示しています。

②RECランプ

録画状態を表示します。
赤点灯：録画動作中であることを示しています。
消灯：録画が行われていないことを示しています。

③以下の状態を表示します。

BUSY：優先度の高いユーザーがカメラを操作しているため、カメラを操作できなかったことを示しています。

COPY：コピー動作中であることを示しています。

DELETE：映像データを削除中であることを示しています。

RECOVER：ミラー復旧中またはRAID復旧中であることを示しています。

④イベントとエラーに関する情報を表示します。

ALARM RESET：イベント発生時に表示されます。このボタンをクリックすると、アラーム表示動作を解除できます。(☞48ページ)

ERROR：エラーが発生したことを示しています。エラー動作についての詳細は付属の取扱説明書をお読みください。

再生位置操作部

①ダウンロードの始点／終点の日時を表示します。（☞64ページ）

② 日時検索
日時検索画面を表示します。見たい映像の日時を指定して再生する場合に使用します。（☞22ページ）

③ 最新画像
現在表示しているカメラCHの最新録画時刻へスキップし、再生します。

[HDD］タブ

[高速逆再生］ボタン
録画映像を逆方向に高速再生します。ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。

[逆スキップ］ボタン
逆方向にスキップして前の録画映像を再生します。

[逆再生］ボタン
録画映像を逆再生します。

[再生］ボタン
録画映像を再生します。

[スキップ］ボタン
順方向にスキップして次の録画映像を再生します。

[高速再生］ボタン
録画映像を順方向に高速再生します。ボタンをクリックするたびに、再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。

[逆コマ送り］ボタン
一時停止中にクリックすると、前のコマを再生します。

[一時停止］ボタン
再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再び再生を開始します。

[停止］ボタン
再生を停止して、カメラのライブ映像を表示します。

[コマ送り］ボタン
一時停止中にクリックすると、次のコマを再生します。

[速度］ボックス
＋ － [画像更新速度調節］ボタン
再生中にクリックすると、画像更新速度が変化します。

［保存（TO PC）］ボックス
再生中の映像をPCにダウンロードします。
始点 ：ダウンロードしたい映像の日時の始点を設定します。
終点 ：ダウンロードしたい映像の日時の終点を設定します。
ダウンロード ：ダウンロード設定画面が表示され、映像・音声をダウンロードできます。
ダウンロードの始点／終点日時は再生位置表示部に表示されます。

マーク
再生中にクリックして、マーキングします。マーキングを付けると、マーキングした位置を検索して再生できます。（☞18ページ）

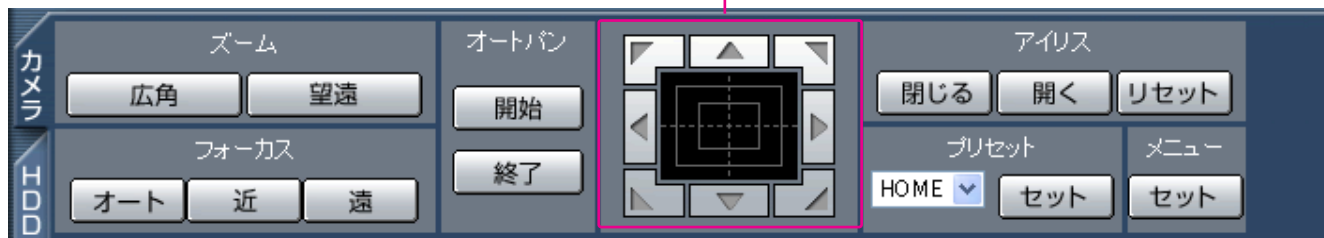
テキスト 再生一時停止中にクリックすると、付加されている文字情報を表示／編集できます。

［録画］ボックス
▲をクリックすると、録画ボタン、録画停止ボタンが表示されます。
▼をクリックすると、録画ボタン、録画停止ボタンが表示されなくなります。

（録画ボタン）：マニュアル録画を開始します。
（録画停止ボタン）：マニュアル録画を停止します。

- マニュアル録画を行うカメラCHをすべてのCHかブラウザーに表示中のCHか、設定によって切り換えることができます。
- 録画ボタン、録画停止ボタンを表示するときは、ボタンが表示されるまで、▲を押し続けてください。

［カメラ］タブ

コントロールパッド／ボタン

［ズーム］ボックス
広角 または 望遠 をクリックしてズームを調節します。

［フォーカス］ボックス
近 または 遠 をクリックして、カメラ映像の焦点を調節します。
オート をクリックすると、自動で焦点を調節（オートフォーカス）することができます。

［オートパン］ボックス
開始 をクリックすると、カメラのオート機能を開始します。 終了 をクリックすると、カメラのオート機能を終了します。

コントロールパッド／ボタン
パッド周囲にあるボタンをクリックすると、クリックした方向にカメラの向きが移動（パン／チルト）します。また、コントロールパッド内をクリックしても、映像の水平位置／垂直位置を調節（パン／チルト）できます。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。

［アイリス］ボックス
開く または 閉じる をクリックして、レンズの絞りを調節します。 リセット をクリックすると、アイリスの設定をリセットできます。

［プリセット］ボックス
あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。▼をクリックしてプリセット番号を選択し、 セット をクリックします。
プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

［メニュー］ボックス
セット をクリックすると、「カメラセットアップ」画面が表示されます。

時計を合わせる

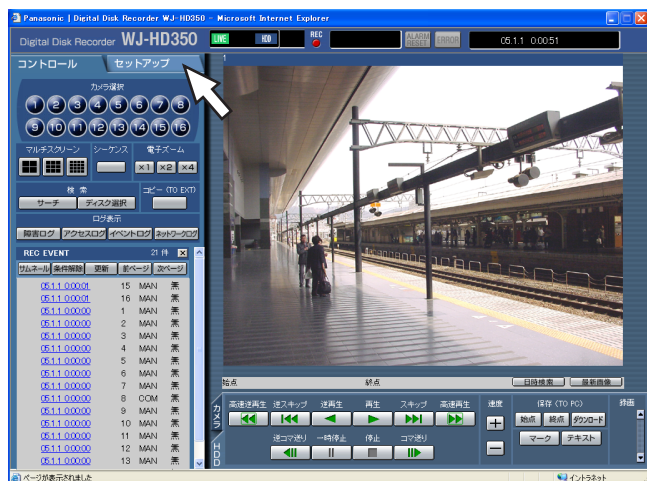
本機の時計を現在時刻に合わせます。時計は定期的に確認し、現在時刻と合っていないときは設定してください。ここでは、簡単設定での操作のしかたについて説明します。詳細設定での操作については、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［セットアップ］タブをクリックします。

画面2

［セットアップ］タブ（簡単設定）が表示されます。

STEP2

「■日時設定」の［∨］ボタンをクリックして、日時を設定します。

STEP3

［適用］ボタンをクリックします。

→設定した日時が反映されます。

録画する（マニュアル録画）

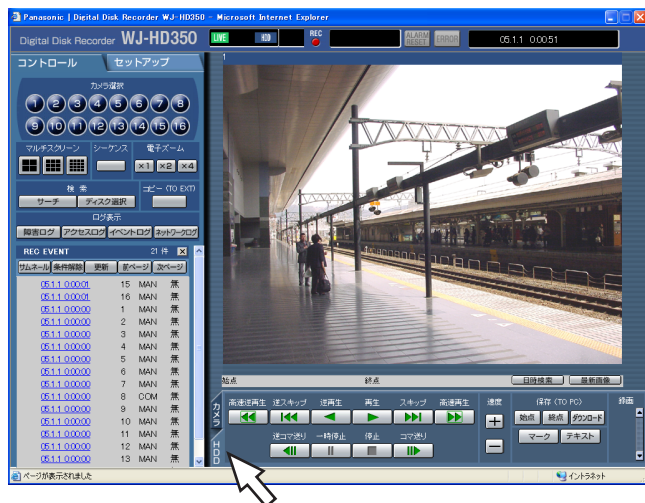
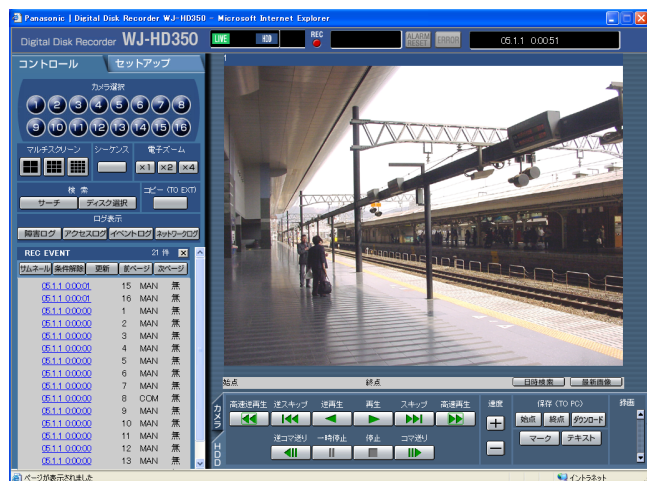
録画の開始／終了を手動で行います。
マニュアル録画する場合に必要な設定については、システムの管理者にご確認ください。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

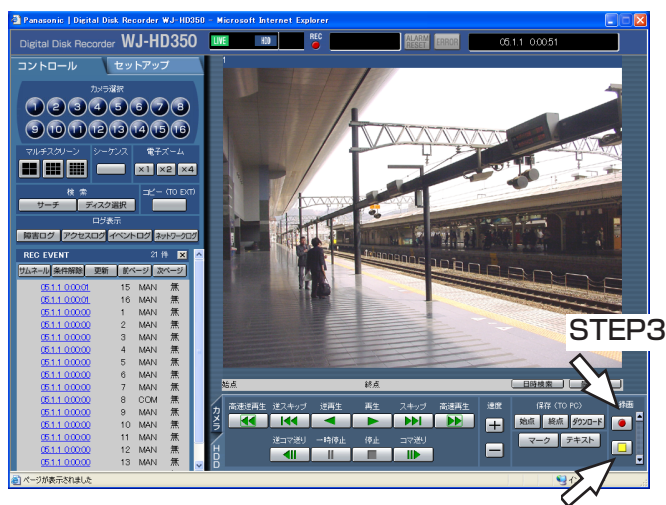
［HDD］タブをクリックします。

画面2

［HDD］タブが前面に表示されます。

STEP2

［録画］ボックスの［▲］ボタンをクリックします。

- 録画ボタン、録画停止ボタンが表示されるまで、［▲］ボタンを押し続けてください。

画面3

［録画］ボックスに録画ボタンが表示されます。

STEP3

（録画ボタン）をクリックして録画を開始します。

- 録画が開始されると、ステータス表示部のRECランプが赤点灯します。
- 初期設定では、接続されているカメラの映像をすべて録画します。
- マニュアル録画よりも優先度の高い録画モードで録画が行われているカメラの映像は、その録画モードでの録画が終了するまで録画を待機します。
  録画モードについては以下をお読みください。

STEP4

録画を終了するときは、（録画停止ボタン）をクリックします。

→ステータス表示部のRECランプが消灯します。

- 他の録画モード（イベント録画など、以下参照）でも録画が行われている場合、マニュアル録画を停止してもそのイベント録画は継続し、RECランプは赤点灯したままになります。
- 映像信号が入力されないカメラCHはマニュアル録画されません。映像信号が入力されると、マニュアル録画を開始します。

録画モードと優先度について

本機には、4種類の録画モードがあります。それぞれの録画モードと優先度は次のとおりです。

録画モード	概要	優先度※1
緊急録画	緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。	最優先
イベント録画	各種イベントが発生したときに録画を自動で行います。	1※2
マニュアル録画	録画の開始／終了を手動で行います。	2※2
スケジュール録画	指定した曜日の指定した時間帯に録画を自動で行います。	3※2

※1：優先度は初期設定値をあらわしています。（緊急録画が最も優先度が高い録画モードです。）

※2：マニュアル録画、スケジュール録画、イベント録画の優先度は、セットアップメニューで切り換えることができます。設定方法については、システムの管理者にご確認ください。

再生する

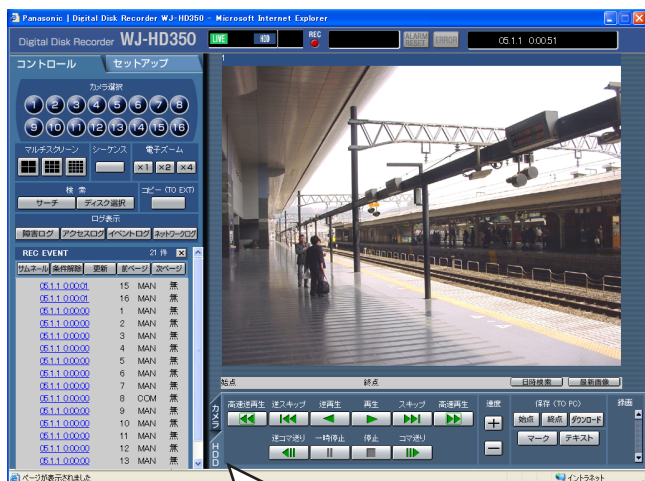
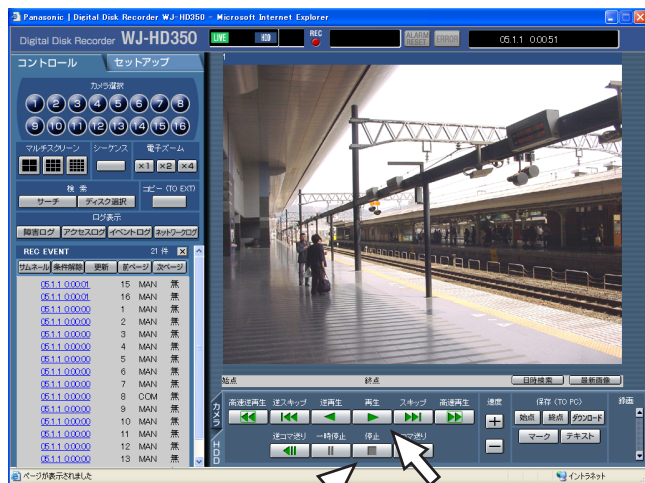
録画した映像を再生します。再生操作は、録画中も行うことができます。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［HDD］タブをクリックします。

画面2

［HDD］タブが前面に表示されます。

STEP2

［再生］ボタンをクリックします。

→録画映像を再生します。ステータス表示部に が表示されます。

ログイン後、初めて再生した時

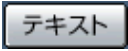
：最新の映像から再生します。
初期設定では最新の30秒前から再生を開始します。
再生開始時刻は以下から設定できます。
最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1 分前／最新5分前
設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

上記以外のとき

：前回再生を終了した日時から再生を開始します。

- 再生中にカメラ選択ボタンをクリックすると、カメラCHを変更できます。
- 再生中に［マルチスクリーン］ボックスのボタンをクリックすると、多画面表示できます。

STEP3

再生を停止するときは、［停止］ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の ▶ が消え、映像表示部にカメラのライブ映像が表示されます。

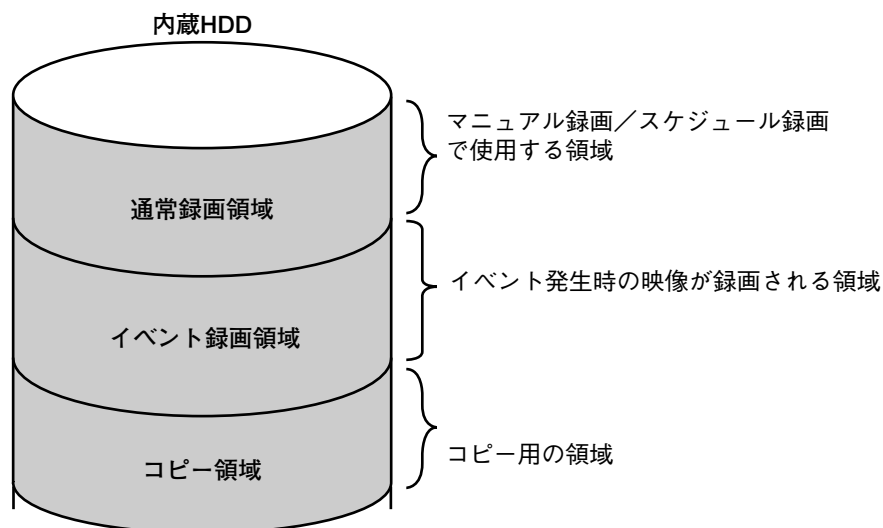
再生中の便利な機能

機能	ボタン	説明
一時停止	一時停止	●再生中に押すと、再生を一時停止します。 ●一時停止中に押すと、再生を再開します。
コマ送り／逆コマ送り	コマ送り 逆コマ送り	●操作は一時停止中に行うことができます。 ●［コマ送り］ボタンを押すと、1コマ再生した後、一時停止します。 ●［逆コマ送り］ボタンを押すと前の1コマを再生した後、一時停止します。
高速再生／高速逆再生	高速再生 高速逆再生	●［高速再生］ボタンをクリックするたびに再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●［高速逆再生］ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●高速再生中、高速逆再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
スキップ／逆スキップ	スキップ 逆スキップ	●［スキップ］ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい映像にスキップして再生します。 ●［逆スキップ］ボタンをクリックすると、録画時刻の古い映像にスキップして再生します。 ●スキップ先が存在しない場合は、現在の再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。
最新画像へスキップ	最新画像	●現在再生している映像の最新録画時刻へスキップし、再生を行います。初期設定では最新の30秒前へスキップします。最新画像へのスキップ先は以下から設定できます。 最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前から選択できます。 設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。 ●ライブ映像を表示しているときに［最新画像］ボタンをクリックすると、最新録画時刻の映像から再生を開始します。
多画面再生	（WJ-HD350のみ）	●分割画面（4／9／16画面）で再生映像を表示します。（WJ-HD309は4／9画面） ●4画面分割ボタンをクリックするたびに1－4CH→5－8CH→9－12CH→13－16CH→1－4CH・・・（WJ-HD309は1－4CH→5－8CH→9CH→1－4CH・・・）とカメラ映像を切り換えて、4画面表示します。 ●9画面分割ボタンをクリックするたびに、1－9CH→10－16CH→1－9CH・・・（WJ-HD309は1－9CH）とカメラ映像を切り換えて、9画面表示します。 ●16画面分割ボタンをクリックすると1－16CHのカメラ映像を16画面表示します。 ●1画面表示に戻すときは、［カメラ選択］ボックスにあるカメラCH のボタンをクリックします。

マーキング (再生操作☞33ページ)	マーク	●マーキングした位置から再生することができます。 記憶したい再生位置で［マーク］ボタンをクリックします。 ●最大100件まで記憶できます。100件登録されると、以降はマーキング登録の古いもの（先に登録したもの）から順に上書きされます。 ●多画面再生を行っているときは、再生を行っている各カメラの再生位置が記憶されます（画面分割数と同じ件数の再生位置が一度に記憶されます）。
テキスト (☞57ページ)	テキスト	●再生中の映像に記録されている文字情報を表示します。 再生を一時停止し、［テキスト］ボタンをクリックします。 ●文字情報の表示／編集は録画映像を1画面で再生一時停止しているときのみ有効です。
画像更新速度調節	速度 + −	●［+］ボタンをクリックするたびに、更新速度が早くなります。 ●［-］ボタンをクリックするたびに、更新速度が遅くなります。 memo ●1画面再生中のみ更新速度を調節できます。 ●録画レートの低い映像を再生すると、再生のスピードが速くなる場合があります。このときは、［-］ボタンをクリックして、再生のスピードを調節してください。

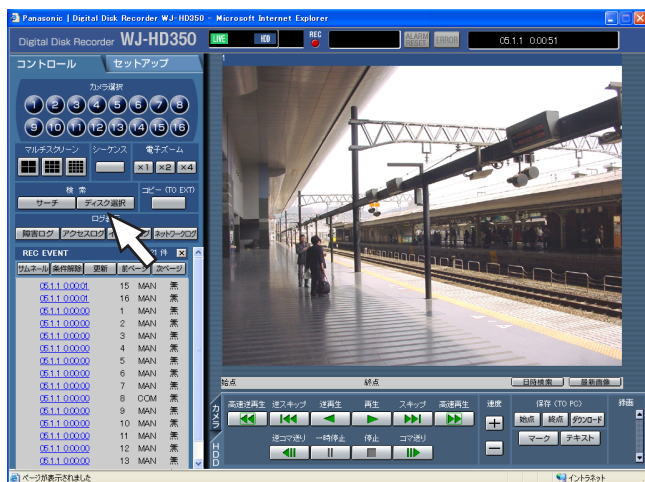
ディスクを選んで再生する

カメラ映像は本機の内蔵HDDまたは本機に接続されている外部記憶装置（DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、CD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）に記録されます。※
ここでは、ディスクを選んで、カメラ映像を再生する方法を説明します。
選択できるディスクは以下のとおりです。
※　外部記憶装置は、HDDに録画された映像のコピー先として使用することができます。外部記憶装置に直接録画することはできません。

- HDD通常領域／イベント領域：本機の内蔵HDD内の録画領域です。マニュアル録画（☞14ページ）やイベント発生時の映像が録画されます。
  また、このディスクを選択している場合、以下の検索再生が行えます。
  - ・録画イベントサーチ（☞23ページ）
  - ・VMDサーチ（☞29ページ）
  - ・マーキングサーチ（☞33ページ）
- HDDコピー領域：本機の内蔵HDD内のコピー領域です。録画された映像をコピーする（☞49ページ）領域です。
  また、このディスクを選択している場合、以下の検索再生が行えます。
  - ・録画イベントサーチ（☞23ページ）
  - ・VMDサーチ（☞29ページ）
- COPY1 （COPY2 ）：本機のコピー1 端子（後面）またはコピー2 端子（前面）に接続されている外部記憶装置（DVD-RAM ディスク、DVD-R ディスク、CD-R ディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）です。
  また、このディスクを選択している場合、以下の検索が行えます。
  - ・コピーデータサーチ（☞27ページ）

- ここでは、内蔵HDDや外部記憶装置などを「ディスク」と表現しています。
- 再生操作は、録画中にも行うことができます。
- 別売りの増設ユニット内にプレ録画領域が作成されているときは、プレ録画領域に記録された映像も再生対象になります。
- 各録画領域の容量は設定によって異なります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

ディスクを選んで再生する（つづき）

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［検索］ボックスにある［ディスク選択］ボタンをクリックします。

画面2

「ディスク選択」画面がポップアップ表示されます。

STEP2

再生したいディスクにチェックをいれます。

STEP3

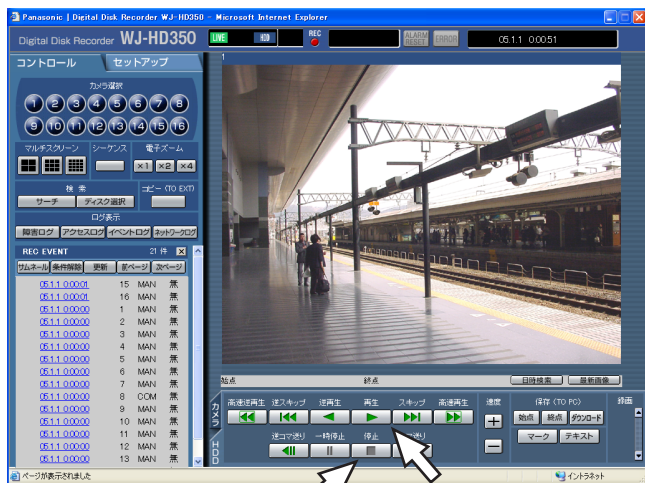
［OK］ボタンをクリックします。
→選択したディスクがステータス表示部に表示されます。

以下の場合は、ポップアップ画面が表示され、HDDのコピー領域／COPY1／COPY2を選択できません。
- 他のユーザーが同じ領域を選択しているとき
- 同じ領域で手動コピーが行われているとき
- 同じ領域で自動コピーを行う設定のとき

STEP4

［HDD］タブをクリックします。

画面3

［HDD］タブが前面に表示されます。

STEP5

［再生］ボタンをクリックします。

→選択したディスク内の録画映像を再生します。ステータス表示部に が表示されます。

memo

● 再生停止後、［再生］ボタンを押すと、前回再生を終了した日時から再生を開始します。

STEP6

再生を停止するときは、［停止］ボタンをクリックします。

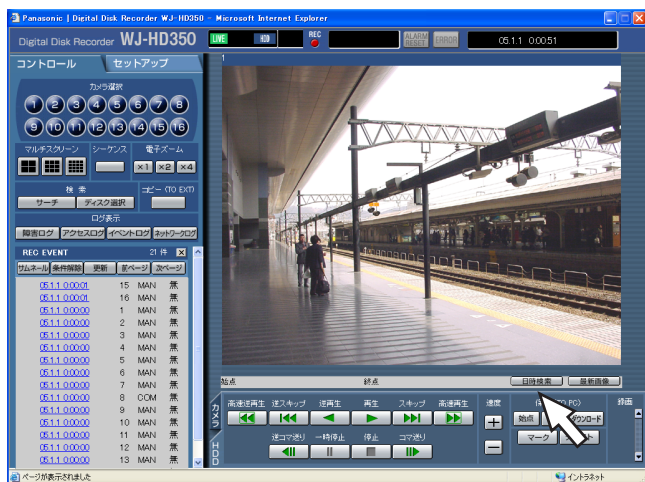
→ステータス表示部の が消え、映像表示部にカメラのライブ映像が表示されます。

頭出し再生する

見たい映像の日時を指定して再生します。再生操作は、録画中にも行うことができます。

●頭出し再生はディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。（☞19ページ）

画面1

トップページから操作します。

STEP1

再生位置操作部にある［日時検索］ボタンをクリックします。

画面2

「日時検索」画面がポップアップ表示されます。

STEP2

［∨］ボタンをクリックして再生したい映像の日時を入力します。

STEP3

［再生］ボタンをクリックします。

→入力した日時の映像を再生します。ステータス表示部に が表示されます。
指定した日時の映像がない場合は、以下のようになります。
入力日時以降に録画映像がある場合、入力日時以降の最も古い映像から再生します。
入力日時以降に録画映像がない場合、入力日時以前の最も新しい映像から再生します。

STEP4

再生を停止するときは、［HDD］タブの［停止］ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の が消え、映像表示部にカメラのライブ映像が表示されます。

検索して再生する

見たい録画映像を検索して再生します。検索のしかたには次の4つの方法があります。
ただし、選択しているディスクによって検索できる方法に制限があります。(☞19ページ)

●録画イベントを検索して再生する（録画イベントサーチ）
●コピーした映像を検索して再生する（コピーデータサーチ）
●録画映像の中から映像に動きのある日時を検索して再生する（VMDサーチ）
●マーキング（☞18ページ）を検索して再生する（マーキングサーチ）

●再生映像は1画面で表示されます。多画面で表示する場合は、再生開始後、（4画面分割ボタン）、（9画面分割ボタン）、（16画面分割ボタン）（WJ-HD350のみ）のいずれかをクリックしてください。

録画イベントを検索して再生する（録画イベントサーチ）

録画イベントをリストまたはサムネールで表示し、その中から再生したい録画イベントを選択して再生します。
また、録画イベントは以下の条件で絞り込んで検索することもできます。

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている映像のみ検索します。
イベント	選択した録画モードの映像のみを検索します。選択できる録画モードは以下のとおりです。 ・マニュアル　：マニュアル録画（☞14ページ） ・スケジュール　：スケジュール録画（詳しくは付属の取扱説明書をお読みください） ・緊急　：緊急録画（詳しくは付属の取扱説明書をお読みください） ・ビデオロス　：ビデオロスによる録画（☞46ページ） ・VMD　：動き自動検出機能による録画（☞46ページ） ・TRM　：端子アラームによる録画（☞46ページ） ・COM　：コマンドアラームによる録画（☞46ページ）
カメラ	選択したカメラCHの映像のみを検索します。
テキスト	テキスト付きあるいはテキスト無しで録画されている映像のみ検索します。

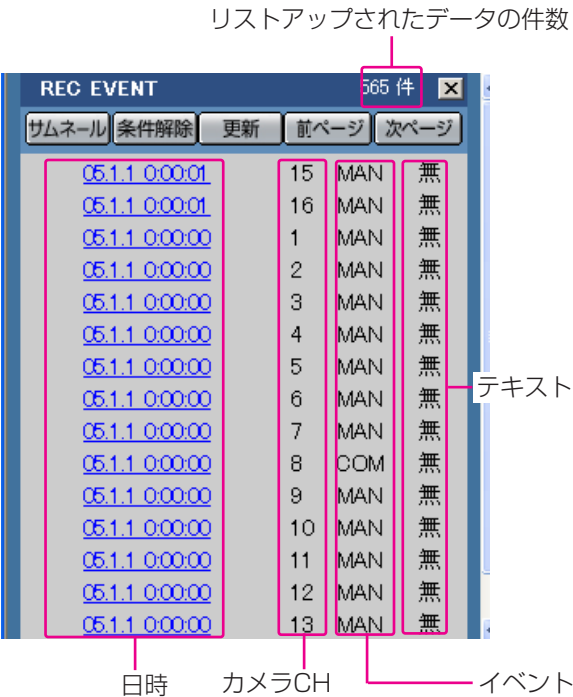
検索して再生する（つづき）

録画イベントリスト画面表示について

リストアップされたデータの件数

REC EVENT　565 件

サムネール　条件解除　更新　前ページ　次ページ

日時	カメラCH	イベント	テキスト
05.1.1 0:00:01	15	MAN	無
05.1.1 0:00:01	16	MAN	無
05.1.1 0:00:00	1	MAN	無
05.1.1 0:00:00	2	MAN	無
05.1.1 0:00:00	3	MAN	無
05.1.1 0:00:00	4	MAN	無
05.1.1 0:00:00	5	MAN	無
05.1.1 0:00:00	6	MAN	無
05.1.1 0:00:00	7	MAN	無
05.1.1 0:00:00	8	COM	無
05.1.1 0:00:00	9	MAN	無
05.1.1 0:00:00	10	MAN	無
05.1.1 0:00:00	11	MAN	無
05.1.1 0:00:00	12	MAN	無
05.1.1 0:00:00	13	MAN	無

リストアップされたデータの件数
：リストアップされたデータのトータル件数を表示します。

［サムネール］ボタン
：サムネール画面表示に切り換えます。

［条件解除］ボタン
：絞り込みを解除し、すべての録画イベントをリストアップします。

［更新］ボタン：表示内容を最新の状態に更新します。

［前ページ］ボタン：前のリスト表示のページを表示します。

［次ページ］ボタン：次のリスト表示のページを表示します。

日時　：<録画イベントサーチリストの場合>
録画開始日時を表示します。
<VMDサーチの場合>
動き検出日時を表示します。
<マーキングサーチの場合>
マーキングが付けられている日時を表示します。

カメラCH：録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

イベント：録画モードを表示します。
MAN：マニュアル録画　SCH：スケジュール録画　EMR：緊急録画　LOSS：ビデオロスによる録画　VMD：動き自動検出機能による録画　TRM：端子アラームによる録画　COM：コマンドアラームによる録画

テキスト：映像に文字情報が付加されている場合は「有」、付加されていない場合は「無」が表示されます。

録画イベントサムネール画面表示について

［リスト］ボタン
：リスト画面表示に切り換えます。

［条件解除］ボタン
：絞り込みを解除し、すべての録画イベントをリストアップします。

［更新］ボタン：表示内容を最新の状態に更新します。

［前ページ］ボタン：前のサムネール表示のページを表示します。

［次ページ］ボタン：次のサムネール表示のページを表示します。

日時　：<録画イベントサーチリストの場合>
録画開始日時を表示します。
<VMDサーチの場合>
動き検出日時を表示します。
<マーキングサーチの場合>
マーキングが付けられている日時を表示します。

カメラCH：録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

イベント：録画モードを表示します。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［検索］ボックスにある［サーチ］ボタンをクリックします。

画面2

「検索方法選択」画面がポップアップ表示されます。

STEP2

［録画イベントサーチ］ボタンをクリックします。

再生

検索して再生する（つづき）

画面3

「録画イベント検索」画面がポップアップ表示されます。

STEP3

条件を絞り込みます。

● 日時で絞り込む場合

［∨］ボタンをクリックして、開始日時、終了日時を選択します。

● 録画イベントで絞り込む場合

表示したい録画イベントをクリックして選択します。

● カメラで絞り込む場合

表示したいカメラCHをクリックして選択します。

● テキストのあり／なしで絞り込む場合

［∨］ボタンをクリックして、「有り」「無し」のどちらかを選択します。「- -」を選択した場合、テキストのあり／なしは条件に含まれません。

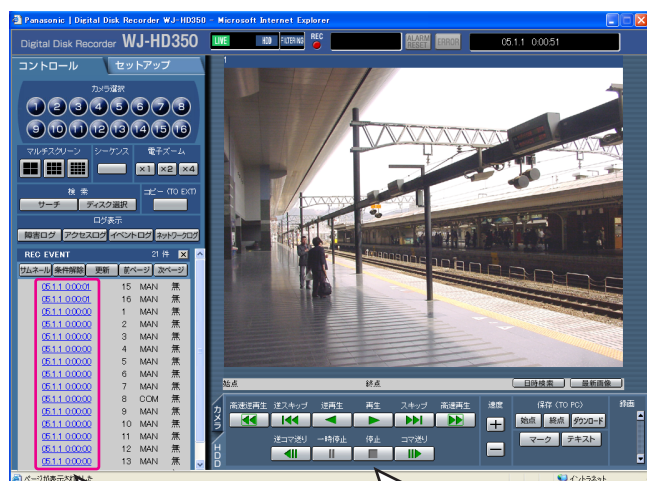
STEP4

［OK］ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に FILTERING が表示され、絞り込まれた結果が表示されます。

● 絞り込みを解除するときは、［条件解除］ボタンをクリックすると、すべての録画イベントが表示され、FILTERING が消えます。

画面4

［コントロール］タブの下に検索結果（録画イベントリスト画面）が表示されます。

STEP5

再生したい録画イベント日時をクリックします。

→選択した録画イベント日時の映像を再生します。

● ［サムネール］ボタンをクリックすると、録画イベントサムネール画面（☞24ページ）に切り換えることができます。

● サムネール画面表示中に［リスト］ボタンをクリックすると、リスト表示画面に切り換えることができます。

リスト表示　　サムネール表示

STEP6

再生を停止するときは、［停止］ボタンをクリックします。

コピーした映像を検索する（コピーデータサーチ）

本機のコピー1 端子（後面）またはコピー2 端子（前面）に接続されている外部記憶装置（DVD-RAM ディスク、DVD-R ディスク、CD-R ディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）内のコピーデータ（コピーした映像）をリスト表示します。
また、コピーデータは以下の条件で絞り込んで検索することもできます。

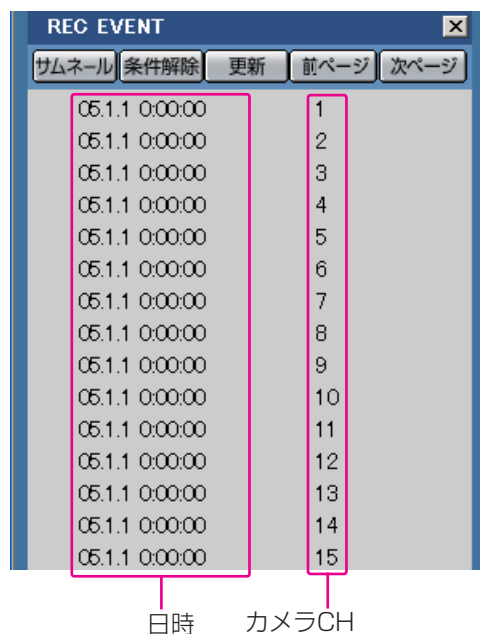
重要

● ウェブブラウザーからはコピーデータの検索のみできます。コピーデータの再生はできません。

● コピーデータサーチはディスク選択で「COPY1」「COPY2」を選択しているときのみ操作できます。(☞19ページ)
● 本機でコピー完了操作を行っていないCD-R／DVD-Rの検索はできません。

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている映像を検索します。
カメラ	選択したカメラCHのみの映像を検索します。

コピーデータリスト画面表示について

[サムネール] ボタン
：コピーデータはサムネール表示できません。

[条件解除] ボタン
：絞り込み条件を解除し、すべてのコピーデータをリストアップします。

[更新] ボタン
：表示内容を最新の状態に更新します。

[前ページ] ボタン
：前のリスト表示のページを表示します。

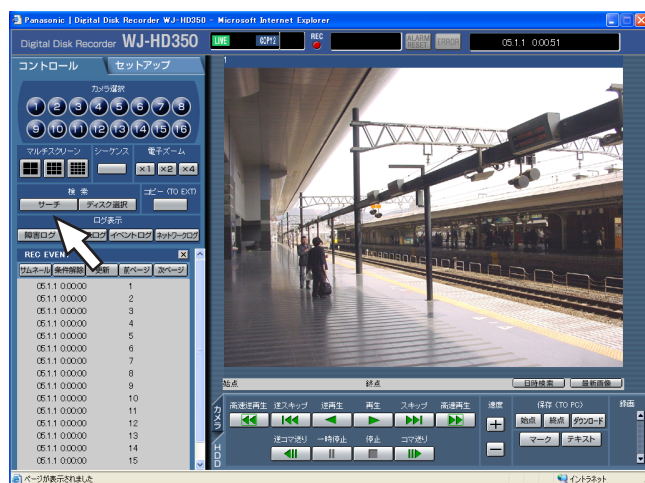
[次ページ] ボタン
：次のリスト表示のページを表示します。

日時
：コピーデータの開始時刻（コピーの開始時刻）を表示します。

カメラCH
：コピーデータのカメラCHを表示します。

再生

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［検索］ボックスにある［サーチ］ボタンをクリックします。

画面2

「コピーデータ検索」画面がポップアップ表示されます。

STEP2

条件を絞り込みます。

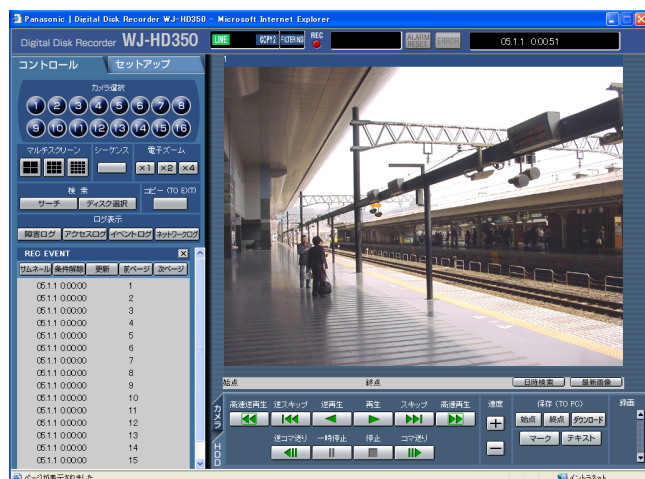
●日時で絞り込む場合

［∨］ボタンをクリックして、開始日時、終了日時を選択します。

●カメラで絞り込む場合

表示したいカメラCHをクリックして選択します。

画面3

［コントロール］タブの下に検索結果（コピーデータリスト画面）が表示されます。

STEP3

［OK］ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に FILTERING が表示され、絞り込まれた結果が表示されます。

●絞り込みを解除するときは、［条件解除］ボタンをクリックすると、すべての録画イベントが表示され、FILTERING が消えます。

再生

録画映像の中から映像に動きのある日時を検索して再生する（VMDサーチ）

すべての録画モード（☞15ページ）で録画した映像の中から、映像に動きのある日時を検索して、リストまたはサムネールで表示します。検索結果のリストまたはサムネールから再生したい日時を選択して再生します。映像に動きのある日時は、検出感度、検索モードで絞り込むこともできます。

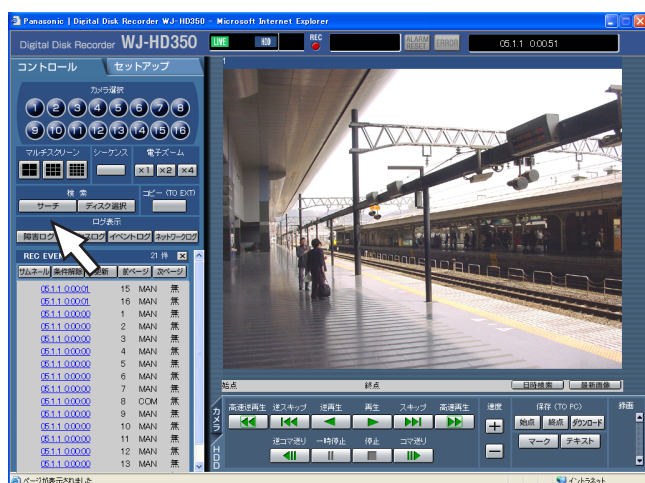
- 再生映像は1画面で表示されます。多画面で表示する場合は、再生開始後、（4画面分割ボタン）、（9画面分割ボタン）、（16画面分割ボタン）（WJ-HD350のみ）のいずれかをクリックしてください。
- VMDサーチはディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。（☞19ページ）

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［検索］ボックスにある［サーチ］ボタンをクリックします。

画面2

「検索方法選択」画面がポップアップ表示されます。

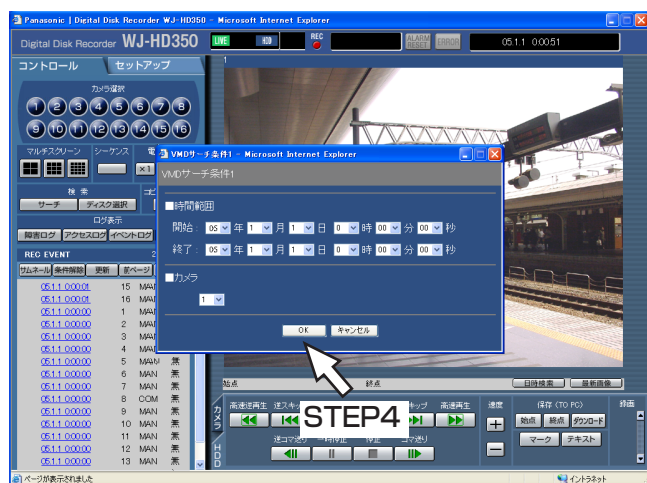
STEP2

［VMDサーチ］ボタンをクリックします。

再生

検索して再生する（つづき）

画面3

「VMDサーチ条件1」画面が表示されます。

STEP3

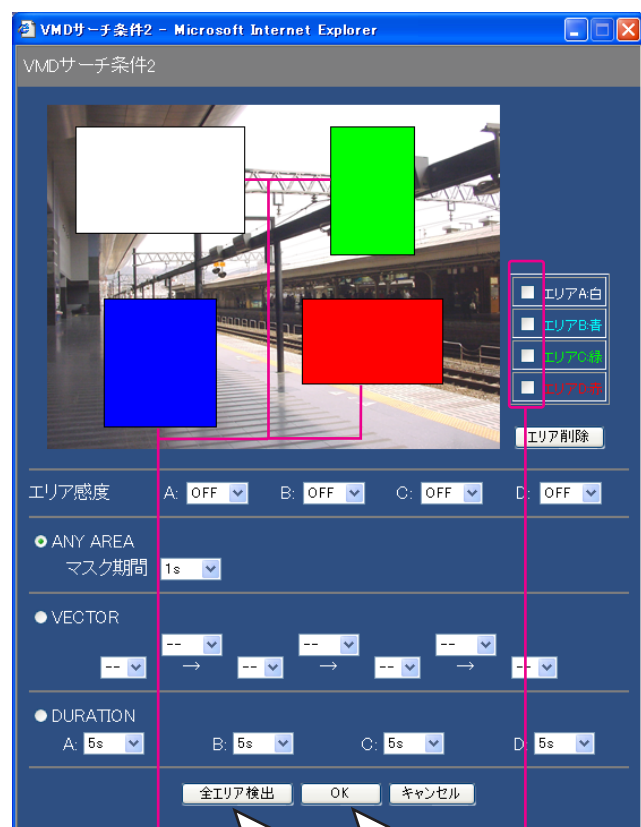
［∨］ボタンをクリックして、VMDサーチを行う日時範囲とカメラCHを設定します。

STEP4

［OK］ボタンをクリックします。

画面4

「VMDサーチ条件2」画面が表示されます。

検出範囲　STEP5　STEP8　削除したいエリアはここにチェックを入れます

STEP5

マウスでドラッグして検出範囲を設定します。検出範囲は最大4エリア（A、B、C、D）まで設定できます。エリアAは白、エリアBは青、エリアCは緑、エリアDは赤で表示されます。画面内のすべての領域を検出範囲に設定したい場合は、［全エリア検出］ボタンをクリックします。また、エリアを削除したい場合は、削除したいエリアにチェックを入れ、［エリア削除］ボタンをクリックします。

STEP6

［∨］ボタンをクリックして、設定した各検出範囲の感度を以下から設定します。

HIGH ：高感度
MID　：中間の感度
LOW ：低感度
OFF　：このエリアの動きを検出しません

STEP7

設定した検出範囲内の検出モード（検出方法）を設定します。検出モードを設定することで、検出範囲内でどのような検出のしかたをするか、具体的に設定できます。設定したい検出モードを選択し、検出モードごとに動作内容を設定します。
検出モードについて詳しくは32ページをお読みください。

（次ページへ続く）

● 「ANY AREA」の場合
マスク期間を設定します。[∨] ボタンをクリックして、マスク期間を以下から設定します。
1 s／1 min／1 h／24 h

● 「VECTOR」の場合
エリアを選択する位置の [∨] ボタンをクリックして、動きを検出したいエリア順にエリアを選択します。次に、各エリア間にある [∨] ボタンをクリックして、各エリア間の移動時間を以下から設定します。
－－／5 s／10 s／20 s／30 s／40 s／50 s／1 min

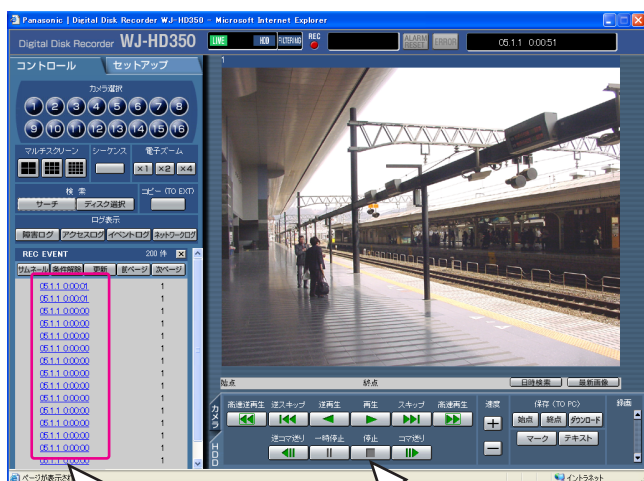
● 「DURATION」の場合
[∨] ボタンをクリックして、各エリアごとに動きの継続時間を以下から設定します。
0 s／5 s／10 s／20 s／30 s／40 s／50 s／1 min

STEP8

[OK] ボタンをクリックします。
→検索が開始されます。

- 検索に時間がかかる場合があります。
- 検索中は検索結果が表示されるエリアに [中止] ボタンが表示されます。[中止] ボタンをクリックすると、検索を中止できます。

画面5

[コントロール] タブの下に検索結果（録画イベントリスト画面）が表示されます。

STEP9

再生したい録画イベント日時をクリックします。
→選択した録画イベント日時の映像を再生します。

STEP10

再生を停止するときは、[停止] ボタンをクリックします。

- [サムネール] ボタンをクリックすると、サムネール画面（☞24ページ）に切り換えることができます。
- サムネール画面表示中に [リスト] ボタンをクリックすると、リスト表示画面に切り換えることができます。

リスト表示　　サムネール表示

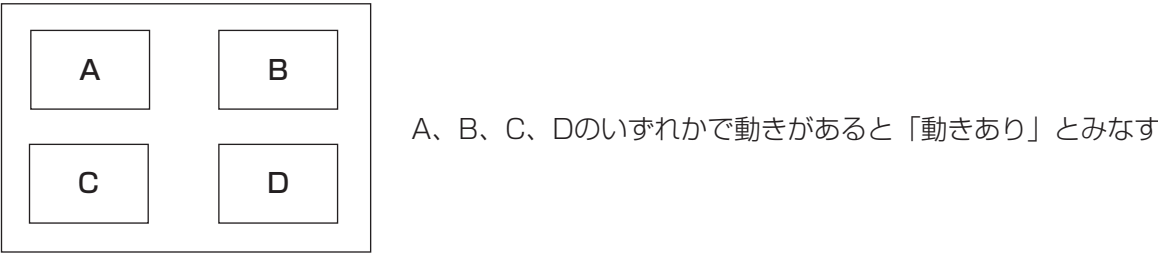
再生

検出モードについて

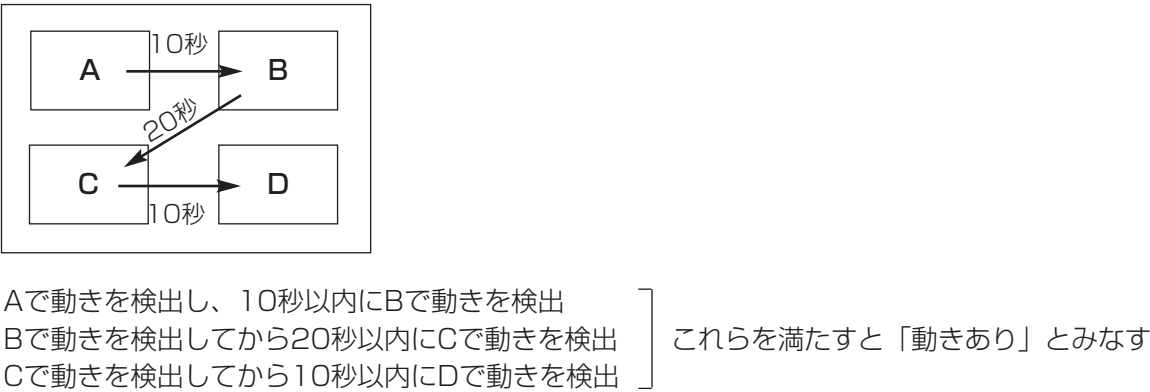
設定した検出範囲内の検出方法を設定します。
検出モードを設定することで、検出範囲内でどのような検出のしかたをするか、具体的に設定できます。
検出モードには以下の3つがあります。

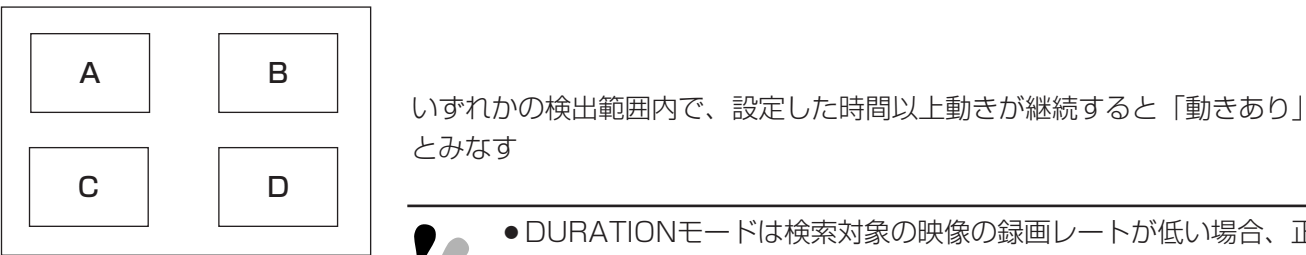
重要
● 複数の検出モードを組み合わせて設定することはできません。

<ANY AREAモード（エリア内の動きを検出する場合に設定）>
設定した検出範囲のいずれかで動きを検出すると、「動きあり」とみなします。

A、B、C、Dのいずれかで動きがあると「動きあり」とみなす

※ANY AREAモードではマスク期間を設定することができます。マスク期間を設定すると、あるエリアで動きを検出してから設定した時間、同じエリアで動きを検出しません。動き検出時間が長い場合や検出結果が多すぎる場合に、検出間隔を間引くために使用します。

<VECTORモード（ある方向に移動する動きを検出する場合に設定）>
検出範囲の設定順で設定時間内に動きが移動した場合、「動きあり」とみなします。
例えば、以下のように設定した場合、

Aで動きを検出し、10秒以内にBで動きを検出
Bで動きを検出してから20秒以内にCで動きを検出
Cで動きを検出してから10秒以内にDで動きを検出
これらを満たすと「動きあり」とみなす

<DURATIONモード（エリア内で一定時間継続する動きを検出する場合に設定）>
設定した検出範囲で設定した時間以上動きが継続した場合、「動きあり」とみなします。
例えば、A：10秒、B：10秒、C：20秒、D：30秒で設定した場合

いずれかの検出範囲内で、設定した時間以上動きが継続すると「動きあり」とみなす

重要
● DURATIONモードは検索対象の映像の録画レートが低い場合、正常に動作しません。
● 記録映像の内容によって、検索に時間がかかることがあります。

マーキングを検索して再生する（マーキングサーチ）

マーキングが付いている録画映像の録画日時をリストまたはサムネールで表示し、その中から再生したい録画日時を選択して再生します。マーキングについては18ページをお読みください。

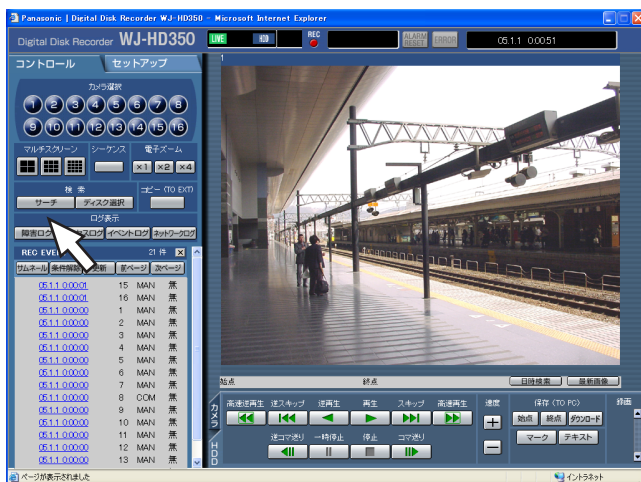
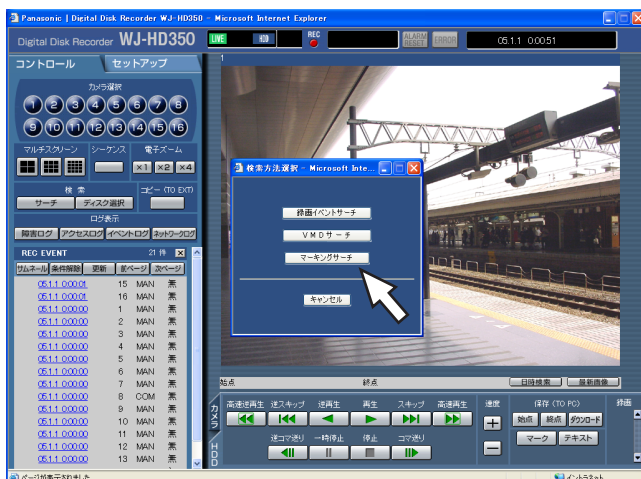
- 再生映像は1画面で表示されます。多画面で表示する場合は、再生開始後、（4画面分割ボタン）、（9画面分割ボタン）、（16画面分割ボタン）（WJ-HD350のみ）のいずれかをクリックしてください。
- マーキングサーチはディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」を選択しているときのみ操作できます。（☞19ページ）

画面1

トップページから操作します。

STEP1

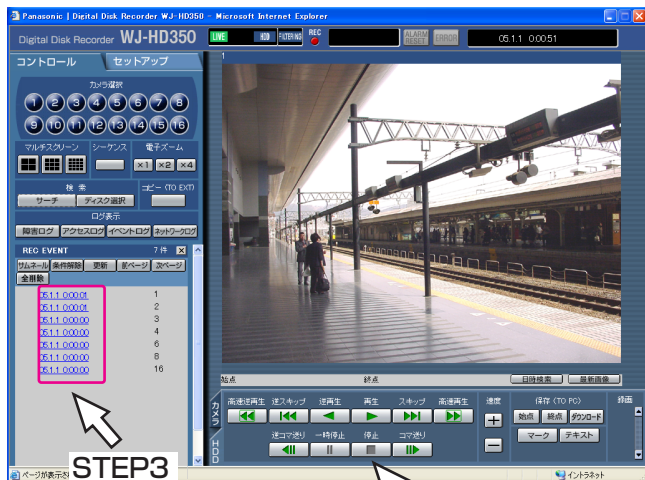
［コントロール］タブの［検索］ボックスにある［サーチ］ボタンをクリックします。

画面2

「検索方法選択」画面がポップアップ表示されます。

STEP2

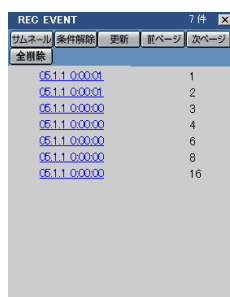
［マーキングサーチ］ボタンをクリックします。

検索して再生する（つづき）

画面3

［コントロール］タブの下に検索結果（録画イベントリスト画面）が表示されます。

STEP3

再生したいマーキング日時をクリックします。
→選択したマーキング日時の映像を再生します。

- ［サムネール］ボタンをクリックすると、サムネール画面（☞24ページ）に切り換えることができます。
- サムネール画面表示中に［リスト］ボタンをクリックすると、リスト表示画面に切り換えることができます。

リスト表示　　サムネール表示

STEP4

再生を停止するときは、［停止］ボタンをクリックします。

- ［全削除］ボタンをクリックすると、マーキングをすべて削除することができます。

カメラのライブ映像を見る

カメラの映像をライブでモニターに表示し確認します。
カメラのライブ映像はモニターに1画面または多画面で表示できます。
また、カメラの映像を自動的に切り換えて表示することもできます（シーケンス表示）。

カメラの映像を1画面で表示する

画面1

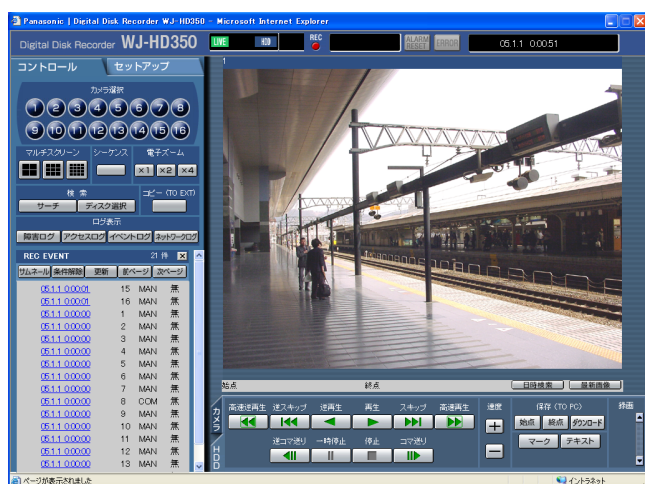
トップページから操作します。

STEP1

ライブ映像を見たいカメラCHを選択します。
［コントロール］タブの［カメラ選択］ボックスにあるカメラCHボタンをクリックします。

画面2

選択したカメラCHのライブ映像が表示されます。

memo

- **電子ズームについて**
  1画面で表示をしている時、映像をズーム表示することができます。
  ［電子ズーム］ボックスにあるボタンをクリックして映像をズーム表示します。
  ［×1］ボタン：電子ズーム1倍で表示します。
  ［×2］ボタン：電子ズーム2倍で表示します。
  ［×4］ボタン：電子ズーム4倍で表示します。
  ズーム表示中の映像をクリックすると、その位置を中心に移動できます。
- ライブ映像を表示しているときに［最新画像］ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラの映像を多画面で表示する

カメラの映像を多画面（4／9／16画面）に分割して表示します。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［マルチスクリーン］ボックスにある多画面選択ボタンをクリックします。

（4画面分割ボタン）

：クリックするたびに1－4CH→5－8CH→9－12CH→13－16CH→1－4CH・・・（WJ-HD309は1－4CH→5－8CH→9CH→1－4CH・・・）とカメラ映像を切り換えて、4画面表示します。

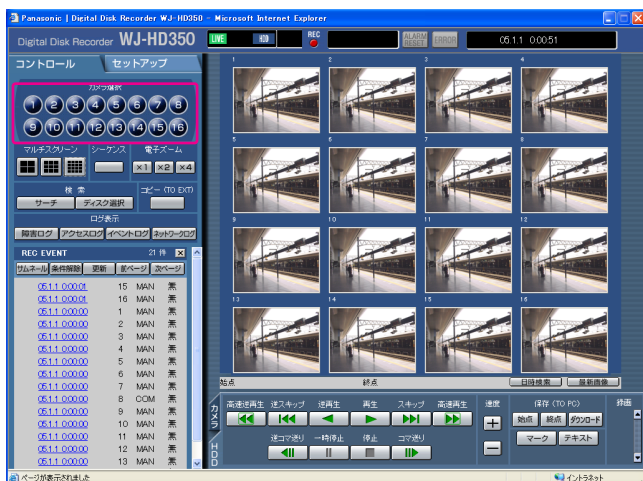
（9画面分割ボタン）

：クリックするたびに、1－9CH→10―16CH→1－9CH・・・（WJ-HD309は1－9CH）とカメラ映像を切り換えて、9画面表示します。

（16画面分割ボタン）（WJ-HD350のみ）

：1―16CHのカメラ映像を16画面表示します。

画面2

ライブ映像が多画面で表示されます。

STEP2

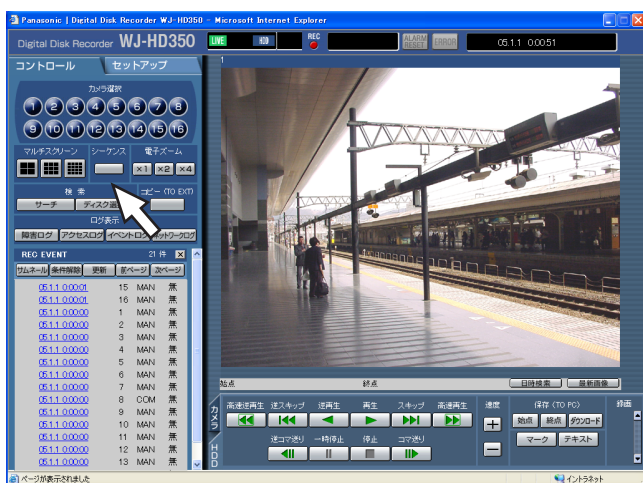
1画面表示に戻すときは、［カメラ選択］ボックスにあるカメラCHボタンのいずれかをクリックします。

- ライブ映像を表示しているときに［最新画像］ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラの映像をシーケンス表示する

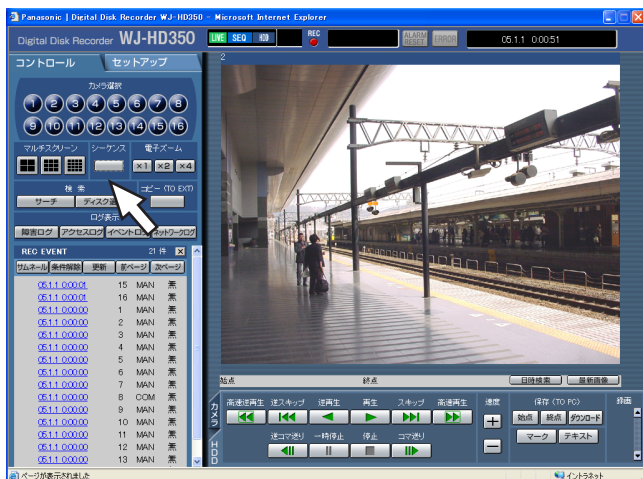
カメラの映像を自動的に切り換えて表示します。
あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［シーケンス］ボックスにあるボタンをクリックします。

画面2

あらかじめ設定してあるシーケンス動作の設定に従ってライブ映像がシーケンス表示されます。

STEP2

シーケンス動作を停止するときは、再度ボタンをクリックします。
また、シーケンス動作中に1画面表示（☞35ページ）、多画面表示（☞36ページ）の操作を行うと、シーケンス動作を停止します。

- カメラパーテショニング機能により、表示できないシーケンスステップはスキップされます。
- ライブ映像を表示しているときに［最新画像］ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の映像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ映像を表示しているとき、以下のカメラ操作を行えます。

- ●パン／チルト　：カメラ映像の水平／垂直位置を調節します。
- ●ズーム　：カメラ映像を拡大／縮小します。
- ●フォーカス　：カメラ映像の焦点を調節します。
- ●アイリス　：レンズの絞りを調節します。
- ●プリセット動作　：あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。
- ●オート機能　：カメラで設定されたオート機能を動作させます。
- ●カメラ設定　：カメラ機能の設定を行います。

- ●接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。
- ●カメラの操作はライブ映像を1画面で表示しているときのみ行えます。

パン／チルト操作

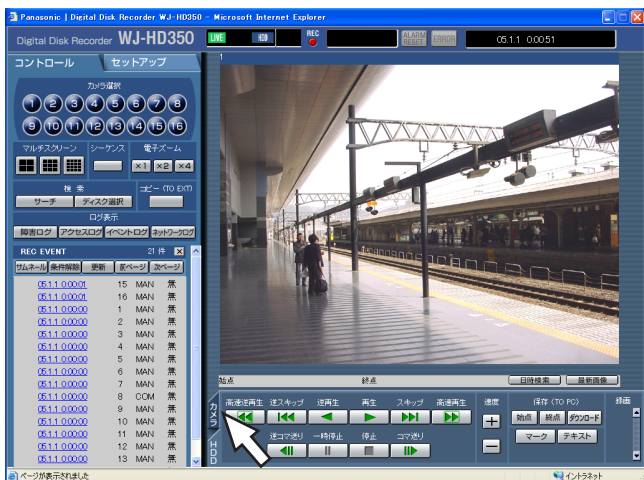
カメラ映像の水平／垂直位置を調節します。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

以下のいずれかの方法でカメラの水平位置、垂直位置を調節します。

- ●コントロールボタン：クリックしてカメラの向きを調節します。
- ●コントロールパッド：クリックして、カメラの向きを調節します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。
- ●画面の映像表示部　：カメラ映像内で画角の中心としたい位置をクリックします。クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

ズーム操作

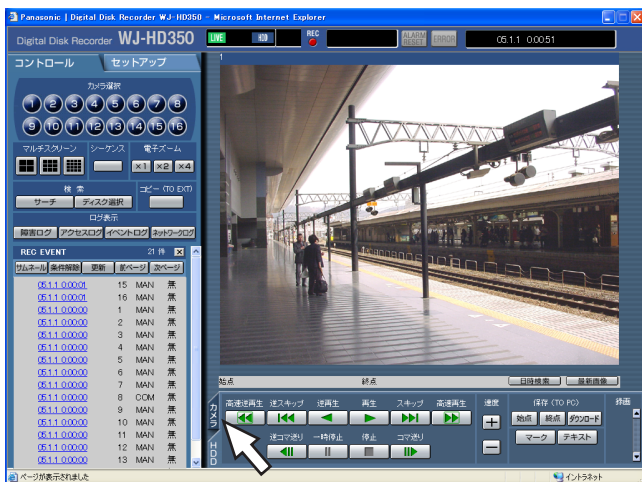
カメラ映像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

［ズーム］ボックスにある［広角］ボタンまたは［望遠］ボタンをクリックして、ズームを調節します。

フォーカス操作

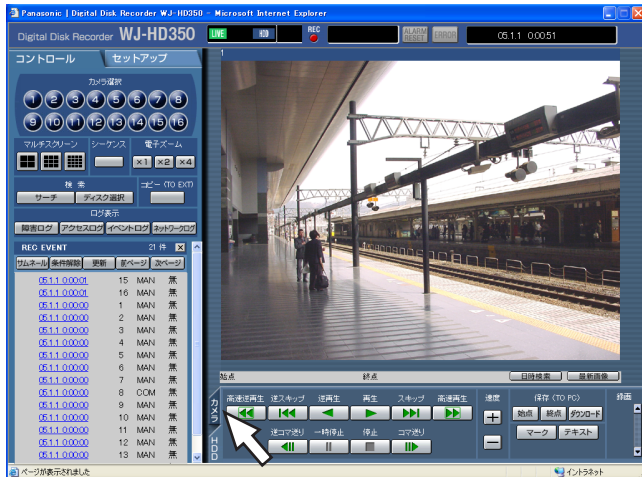
カメラ映像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

［フォーカス］ボックスにある［近］ボタンまたは［遠］ボタンを押して、カメラ映像の焦点を調節します。
［オート］ボタンをクリックすると、焦点を自動調節できます。

アイリス操作

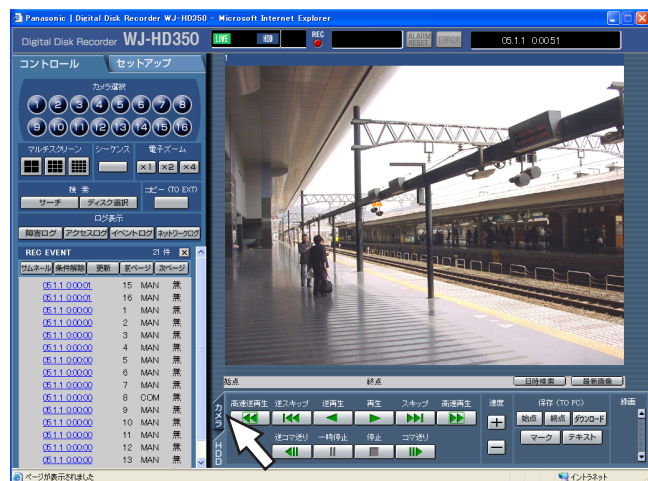
レンズの絞りを調節します。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

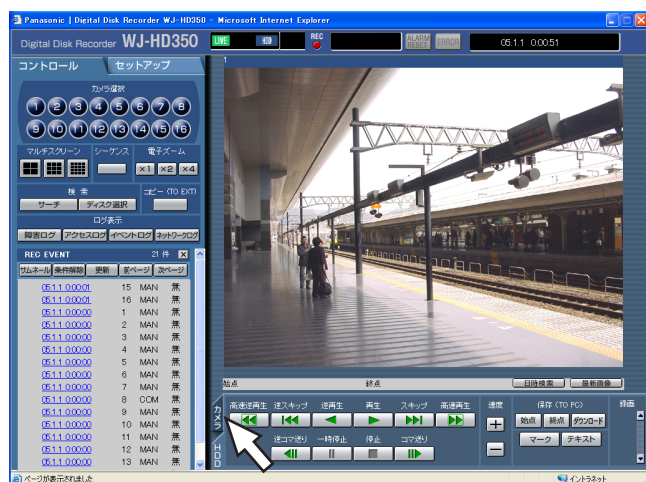
STEP2

［アイリス］ボックスにある［閉じる］ボタンまたは［開く］ボタンを押して、絞りを調節します。
［リセット］ボタンをクリックすると、アイリスの設定をリセットできます。

カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。プリセットポジションの登録のしかたについては、付属の取扱説明書をお読みください。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面1

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

［プリセット］ボックスの［∨］ボタンをクリックして、登録したいプリセット番号（HOME、1〜256）を選択します。

STEP3

［セット］ボタンをクリックします。

→選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

オート機能（オートパンなど）

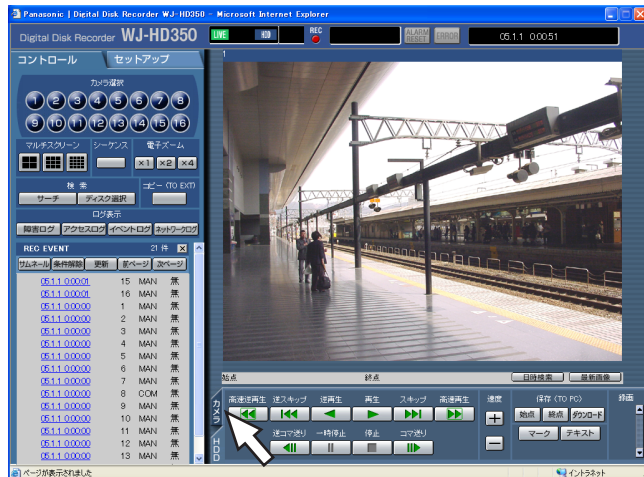
カメラで設定されたオート機能を動作させます。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

［オートパン］ボックスにある［開始］ボタンをクリックして、オート機能を開始します。
オート機能を終了するときは［終了］ボタンをクリックします。

カメラのオート機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

カメラの設定メニューを操作する

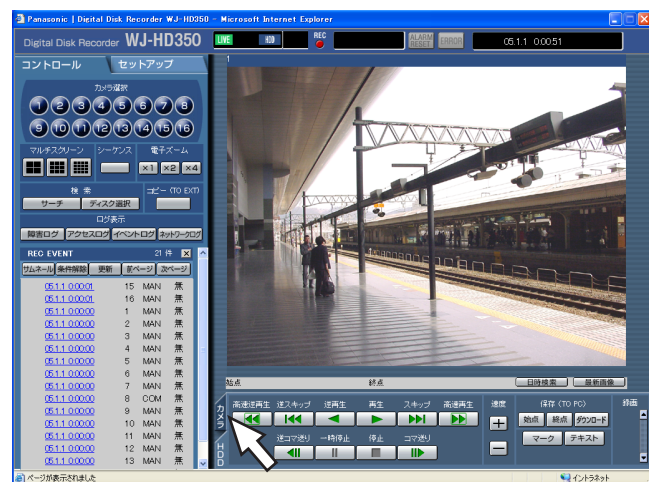
本機に接続しているカメラを操作する場合、あらかじめカメラ機能を設定しておく必要があります。
カメラ機能の設定はカメラの設定メニューで行います。
カメラの設定メニューはPCから呼び出して操作することができます。カメラの設定メニューの内容や操作方法はカメラによって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。
ここでは、カメラの設定メニューの表示のしかたと基本的な操作方法について説明します。

画面1

カメラのライブ映像が1画面で表示している状態で操作します。

STEP1

［カメラ］タブをクリックします。

画面2

［カメラ］タブが前面に表示されます。

STEP2

［メニュー］ボックスの［セット］ボタンをクリックします。

画面3

「カメラセットアップ」画面がポップアップ表示され、映像表示部にカメラ設定メニューが表示されます。

STEP3

カメラ設定メニューを操作します。
カメラ設定メニューを操作するときに使用するボタンは以下のようになります。

カーソル移動	十字ボタン（▼▲）
設定値の変更	十字ボタン（◄ ►）
設定値の確定、下層へ移動	［セット］ボタン
上層へ移動	［ESC］ボタン
スペシャルメニュー表示	カメラ設定メニューの「SPECIAL」にカーソルを移動し［リセット］ボタンをクリック
カメラリセット	カメラ設定メニューの「CAMERA RESET」にカーソルを移動し［オールリセット］ボタンをクリック

STEP4

カメラ設定メニューを終了するときは［閉じる］ボタンをクリックします。

● カメラリセットを行った場合など、カメラ設定メニューが消えても「カメラセットアップ」画面が表示されたままになる場合があります。この場合は、「カメラセットアップ」画面の［閉じる］ボタンをクリックしてください。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム入力　：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力されること
- 動き検出　：動き自動検出機能（以下参照）により画面内に動きが検出されること
- ビデオロス　：カメラケーブルの断線、カメラの故障などにより、映像の入力がなくなること
- コマンドアラーム受信　：本機後面のDATA端子、シリアル端子に接続されたPCなどからコマンドアラームが送られてくること

●動き自動検出機能について

指定した範囲内の画面の動き（輝度変化）をとらえ、信号を出力します。本機ではその動きを検出したときに、その場所の映像を保存したり、電子メールを送信するよう設定することができます。
検出範囲など、動き自動検出機能を動作するために必要な設定についてはシステムの管理者にご確認ください。

イベント発生時の動作

イベントが発生し、本機がイベントを認識すると、設定に従ってイベント動作を行います。
本機では、イベント発生時の動作をアラームモード（ALM）、アクティビティディテクションモード（ADM）の2種類から選択します。設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。
アラームモードに設定されている場合、本機はアラーム動作（☞47ページ）を行います。

動作モードについて

●アラームモード（ALM）

イベント発生時に外部へ通知を行うモードです。アラームモード時に行われる動作を総称して「アラーム動作」と呼びます。

●アクティビティディテクションモード（ADM）

イベント発生時に外部機器へ通知を行わず、録画のみを行うモードです。

●OFF

イベント入力ログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

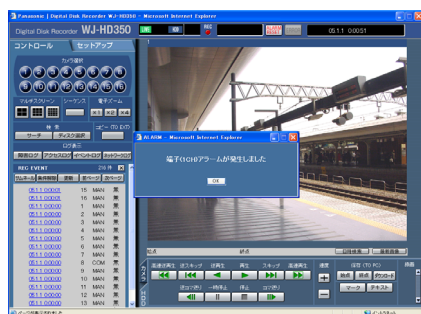
イベント動作	アラームモード	アクティビティディテクションモード	OFF
録画を開始する	○	○	×
画面にイベント情報を表示する	○	×	×
アラームランプを点滅する	○	×	×
ブザーを鳴らす	○	×	×
※アラーム発生場所の映像に切り換える	○	×	×
※カメラの向きをプリセットポジションに移動する	○	○	×
※イベント発生をメールで通知する	○	×	×
※イベント発生をPS・Data／シリアル（RS232C）コマンドで通知する	○	×	×
本機後面のアラーム端子、アラーム／コントロール端子から信号を出力する（アラーム出力）	○	×	×
イベント入力ログへ記録する	○	○	○
※FTPサーバーへ映像を送信する	○	×	×

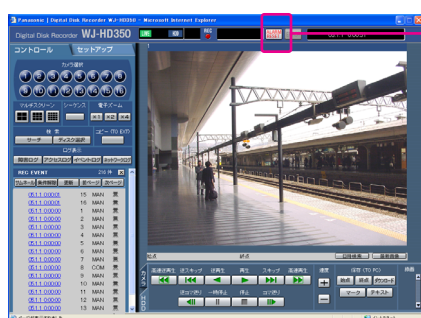
※ネットワークを経由してPCからのみ操作可

イベント機能

アラーム動作について

ここでは、PCから設定、確認できるアラーム動作について説明します。
本機で動作するアラーム動作については、付属の取扱説明書をお読みください。

● アラーム通知画面を表示する

● アラーム通知画面は以下の場合は表示されません。
・本機のアラーム抑止が「ON」に設定されているとき
（☞付属の取扱説明書）
・イベントの動作モードが「ADM」に設定されているとき
（☞46ページ）

● ステータス表示部に［ALARM RESET］ボタンを表示する

［ALARM RESET］ボタン

● イベント発生を電子メールで通知する

イベントが発生すると、イベントの発生とその日時を知らせる電子メール（アラームメール）を登録したメールアドレスに送信して通知します。その際、画像を1枚添付して送信することもできます。複数のカメラCHのイベント録画が行われた場合、一番番号の小さいカメラCHの映像のみ添付されます。
アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。
イベント発生時にアラームメールを送信するようにするには、あらかじめセットアップメニューで設定しておく必要があります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
アラームメールの内容については70ページをお読みください。
また、アラームメールの内容はカスタマイズすることもできます。（☞70ページ）

● イベント発生時、録画映像をFTPサーバーへ送信する

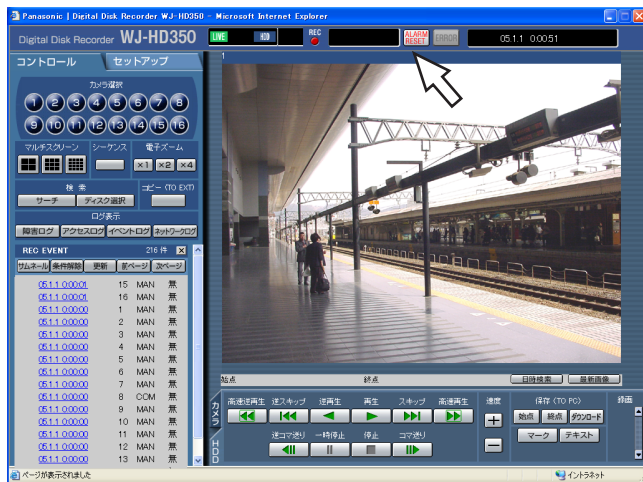
イベントが発生すると、イベント録画を開始した時刻から設定した時間の映像をFTPサーバーへ自動的に送信します。イベント発生時にFTPサーバーへ録画映像を自動送信するようにするには、あらかじめセットアップメニューで設定しておく必要があります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

● FTPサーバーへ送信される映像は、イベント録画の開始時刻から設定した時間の映像です。
イベントが連続して発生する場合は、はじめに発生したイベント録画の開始時刻から設定した時間の映像のみ送信されます。

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。
アラーム動作を手動で解除したいときは、以下の操作を行ってください。

画面1

イベントが発生すると、ステータス表示部に
「ALARM RESET」が表示されます。

STEP1

［ALARM RESET］ボタンをクリックします。
→アラーム動作が解除されます。

memo

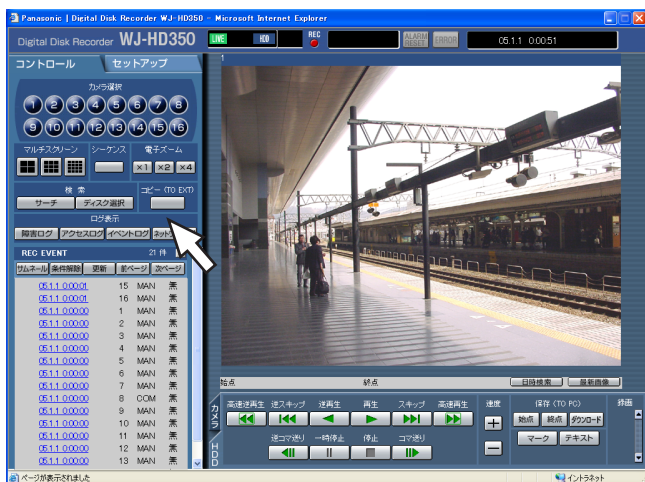
- アラーム動作を解除すると、イベント録画が停止します。

コピーする

ディスク選択（☞19ページ）で選択したディスクに録画された映像をHDDのコピー領域または本機に接続されている外部記憶装置（DVD-RAMディスク、DVD-Rディスク、CD-Rディスク、外付けHDD、SDメモリーカード）に手動でコピーします。
大切なデータはHDDの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。
手動でのコピーは以下の状態のときに行えます。
- ●ライブ映像の表示中
- ●録画映像の再生一時停止中

- ●録画映像を自動的にコピーするよう設定することもできます（自動コピー機能）。ただし、自動コピー機能が設定されていると、手動でコピーすることはできません。自動コピー機能について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- ●DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードに映像をコピーする場合、あらかじめ各媒体をフォーマット（初期化）しておく必要があります。フォーマットのしかたについては54ページをお読みください。
- ●映像のコピーはディスク選択で「HDD通常領域／イベント領域」「HDDコピー領域」を選択しているときのみ操作できます。（☞19ページ）
- ●以下の場合、動作中の手動コピーが中止されます。
  - ・コピー中に設定が変更されたとき
  - ・PCのウェブブラウザーから手動コピーをはじめたユーザーがログアウトしたとき（ウェブブラウザーを閉じたとき）

画面1

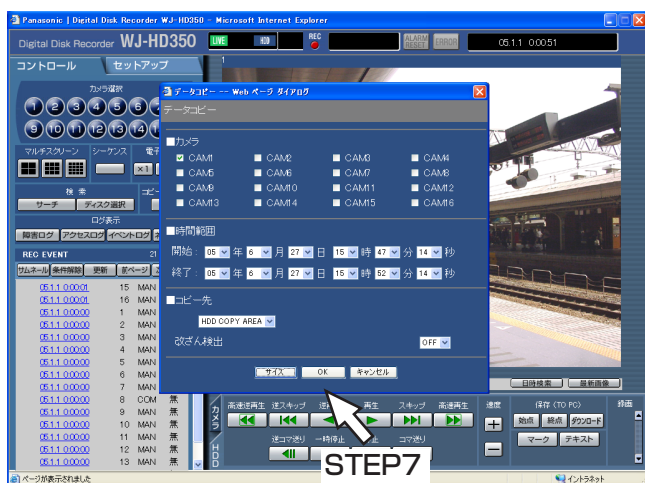
トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［コピー（TO EXT)］ボックスにあるボタンをクリックします。

- ●以下の場合は、手動コピーを行うことはできません（［コピー（TO EXT)］ボックスにあるボタンをクリックすると、ポップアップ画面が表示されます）。
  - ・自動コピーが行われているとき
  - ・手動コピーが行われているとき
- ●再生映像のダウンロード（☞64ページ）中は手動コピーを行うことはできません。

- ●コピーはビューワーソフト→映像→音声の順に行われます。コピーの設定時間によっては、すべての映像と音声がコピーされない場合があります。

画面2

「データコピー」画面が表示されます。

STEP2

コピーしたいカメラCHをクリックして選択します。
カメラCHは複数選択できます。

STEP3

［∨］ボタンをクリックして、コピーの開始日時／終了日時を設定します。
一度にコピーできる日時範囲の制限はありませんが、コピーデータは1ファイルが99分59秒に達するか、サイズが2 GByteに達した時点で分割されます（一度のコピーで複数のコピーデータが作成される場合があります)。

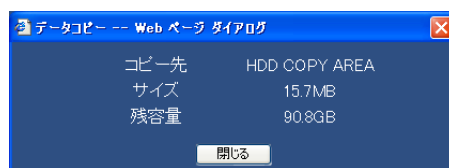
STEP4

［∨］ボタンをクリックして、コピー先を以下から選択します。
HDD COPY AREA：本機の内蔵HDD
COPY1：コピー端子1に接続されている外部記憶装置
COPY2：コピー端子2に接続されている外部記憶装置

STEP5

［∨］ボタンをクリックして、ビューワーソフトで改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかを選択します。
OFF ：改ざん検出用のデータを付けません。
ON ：改ざん検出用のデータを付けます。

STEP6

コピーするデータのサイズを確認します。
［サイズ］ボタンをクリックすると、コピーデータのサイズの計算が始まります。計算が終了すると、以下の画面が表示されます。

コピー先 ：STEP4で設定したコピー先
サイズ ：コピーするデータのサイズ
残容量 ：コピー先の残容量

［閉じる］ボタンを押してデータコピー画面に戻ります。

STEP7

［OK］ボタンをクリックします。
→コピーが開始され、ステータス表示部に COPY が表示されます。
ただし、以下の場合は、ポップアップ画面が表示され、コピーが実行されません。
- 他のユーザーがコピー先のディスク選択しているとき
- 自動コピーを行う設定になっているとき
- 手動コピーが行われているとき

- コピー先の残容量が足りない場合、残容量の分だけをコピーし、コピーを中断します。
- コピー先の残容量が「- -KB」と表示される場合、以下の理由が考えられます。
  ・セットアップメニュー「メンテナンス」の「終端設定」が「CONTINUE」に設定されている
  →コピー先の「終端設定」を「STOP」に変更してください。
- コピー先の残容量が「**KB」と表示される場合、以下の理由が考えられます。
  ・コピー先が存在しない。
  →COPY1／2の接続を確認してください。
  →HDDコピー領域があるか確認してください。
  ・COPY1／2のディスクが認識できないフォーマットもしくは未フォーマット
  →COPY1／2のディスクのフォーマットを行ってください。
- コピーするデータのサイズが「0.0KB」と表示された場合、以下の理由が考えられます。
  ・カメラCHが選択されていない
  →カメラCHを選択してください。
  ・指定した日時範囲に録画データが存在しない
  →録画データが存在するか確認してください。
- コピーするデータのサイズが「サイズを取得できませんでした」と表示された場合、以下の理由が考えられます。
  ・HDDアクセス時にエラーが発生した場合などで、コピーデータの取得に失敗
  →再度実行してみてください。再度実行しても上記メッセージが表示される場合は、販売店に相談してください。

ディスクを管理する

本機の内蔵HDDとDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードに関する操作を行います。ここでは、HDD内に記録された映像を手動で消去する方法と、DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードのフォーマット（初期化）のしかたについて説明します。
それ以外のHDDに関する操作や詳細については、システムの管理者にご確認ください。

HDDに記録されている映像を手動で消去する

本機の内蔵HDDの通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域に録画されている映像を手動で消去します。
日付を設定し、設定した日付の前日までに記録された映像を消去します。

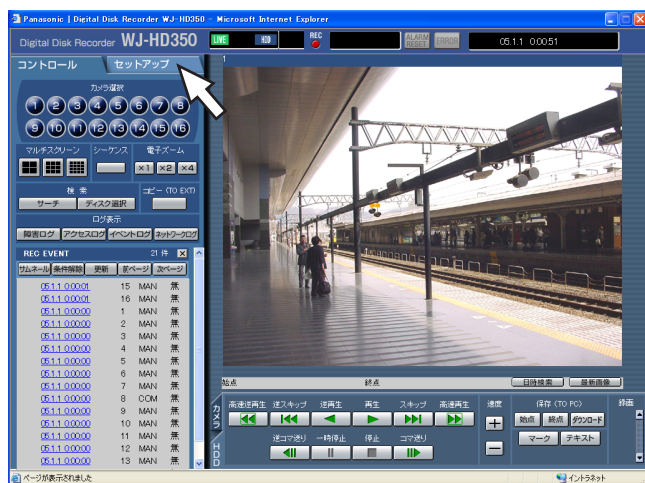
- 消去した映像は復元することができません。ご注意ください。
- 日数を設定しその日数が経過すると、自動的にHDD内の映像を消去するように設定できます（HDD自動消去）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- セットアップメニュー「メンテナンス」の「終端設定」を「STOP」に設定している場合、消去しても残容量は増えません。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［セットアップ］タブをクリックします。

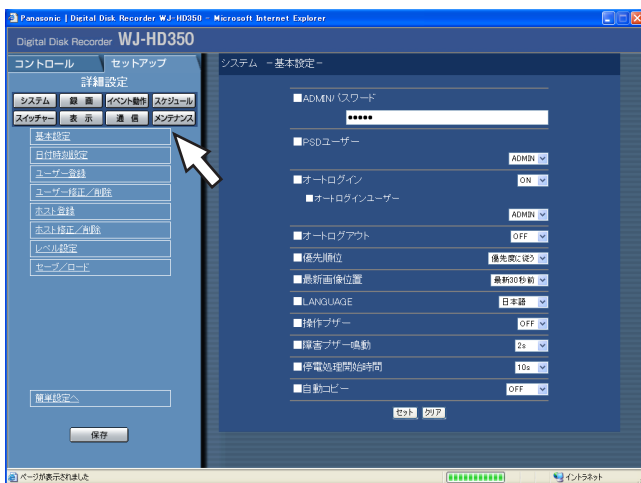
画面2

［セットアップ］タブ（簡単設定）が表示されます。

STEP2

「詳細設定へ」をクリックします。

ディスクを管理する（つづき）

画面3

詳細設定画面が表示されます。

STEP3

［メンテナンス］ボタンをクリックします。

画面4

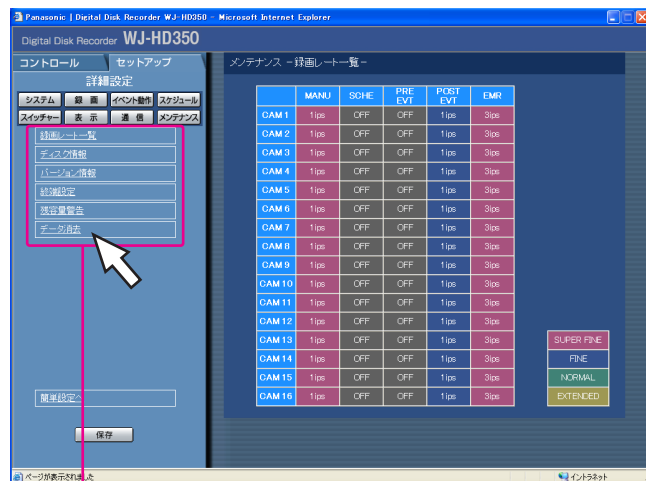
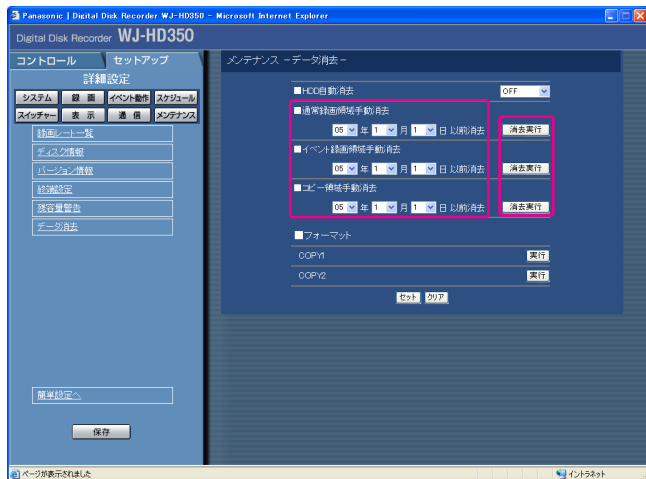
［メンテナンス］のサブメニューが表示されます。

	MANU	SCHE	PRE EVT	POST EVT	EMR
CAM 1	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 2	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 3	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 4	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 5	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 6	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 7	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 8	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 9	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 10	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 11	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 12	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 13	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 14	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 15	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips
CAM 16	1ips	OFF	OFF	1ips	3ips

［メンテナンス］のサブメニュー

STEP4

「データ消去」をクリックします。

画面5

「データ消去」画面が表示されます。

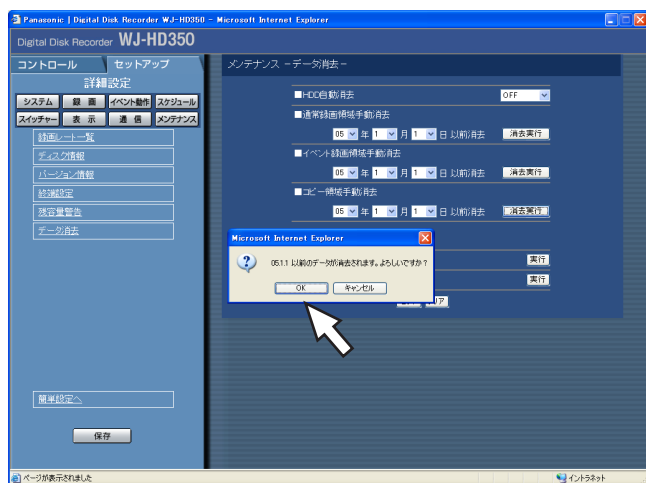
STEP5

「通常録画領域手動消去」「イベント録画領域手動消去」「コピー領域手動消去」のいずれかの日付を設定します。ここで設定した日付の前日までに記録された映像が消去対象になります。

STEP6

［消去実行］ボタンをクリックします。

画面6

確認画面がポップアップ表示されます。

STEP7

［OK］ボタンをクリックします。

→データ消去を開始します。データ消去が完了すると、「データ消去」画面に戻ります。

DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードをフォーマット（初期化）する

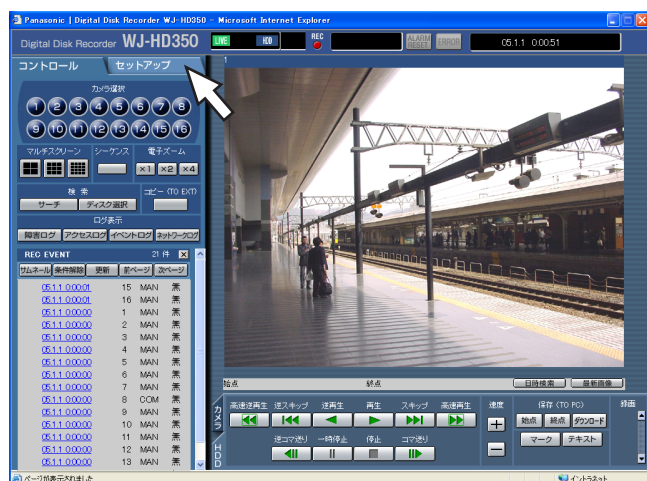
DVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードを接続し、映像をコピーする場合、あらかじめDVD-RAMディスク、外付けHDD、SDメモリーカードをフォーマット（初期化）しておく必要があります。
また、各媒体に記録されている映像を消去したいときも、このフォーマット（初期化）を行います。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

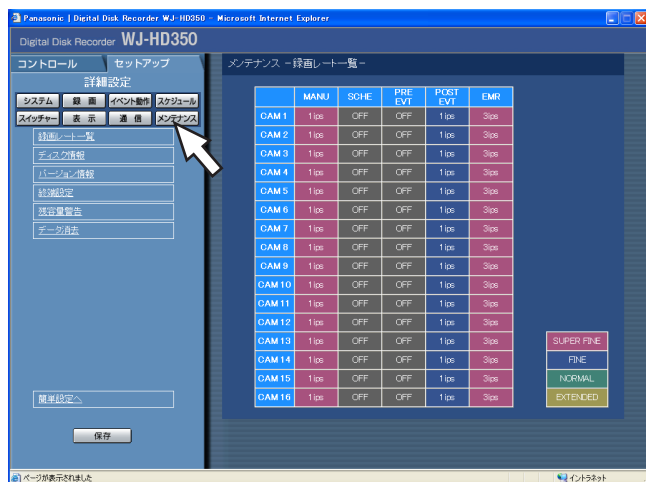
［セットアップ］タブをクリックします。

画面2

［セットアップ］タブ（簡単設定）が表示されます。

STEP2

「詳細設定へ」をクリックします。

画面3

詳細設定画面が表示されます。

STEP3

［メンテナンス］ボタンをクリックします。

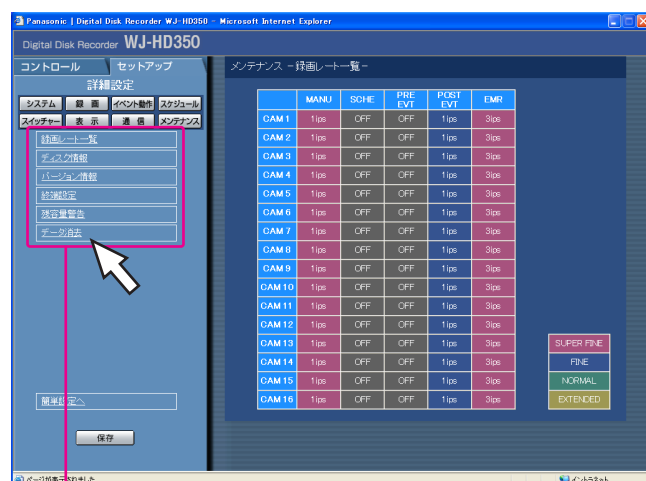
画面4

［メンテナンス］のサブメニューが表示されます。

［メンテナンス］のサブメニュー

STEP4

「データ消去」をクリックします。

画面5

「データ消去」画面が表示されます。

STEP5

「フォーマット」の「COPY1」または「COPY2」の［実行］ボタンをクリックします。
フォーマットしたいDVD-RAMディスクが接続されている端子の［実行］ボタンをクリックします。

画面6

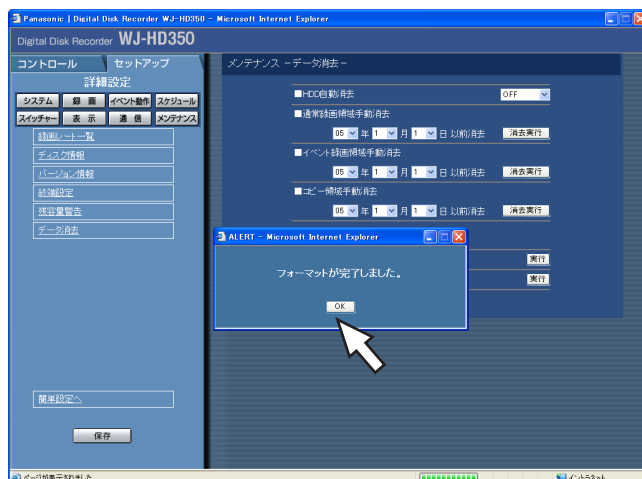
確認画面がポップアップ表示されます。

STEP6

［OK］ボタンをクリックします。

→フォーマットを開始します。

画面7

フォーマット完了画面が表示されます。

STEP7

［OK］ボタンをクリックします。

→フォーマット完了画面が閉じ、「データ消去」画面に戻ります。

文字情報を表示／編集する

映像を録画する際に映像に文字情報（テキスト）を記録することができます。
文字情報は200文字まで入力することができます。
ここでは、映像に付けられている文字情報を表示、編集する方法について説明します。

●文字情報の表示／編集は、1画面で再生一時停止中に行うことができます。

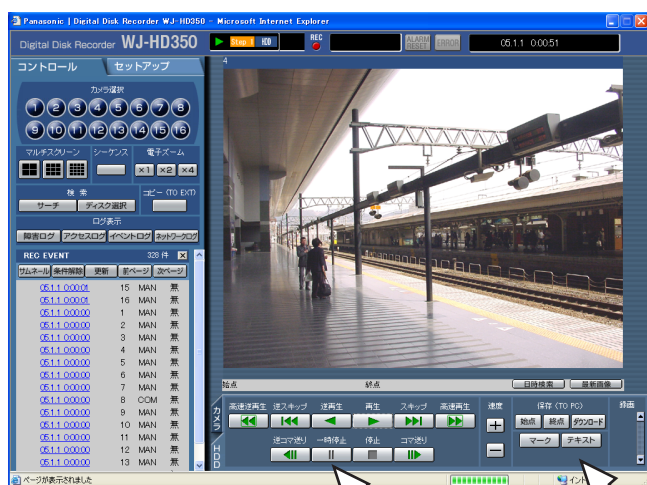
画面1

録画映像を1画面で再生している画面から操作します。

STEP1

[一時停止] ボタンをクリックして再生を一時停止します。

STEP2

［HDD］タブの［テキスト］ボタンをクリックします。

画面2

「テキスト表示・編集」画面が表示されます。

STEP3

再生中の映像に記録されている文字情報が表示されます。

STEP4

文字情報を編集します。

●使用可能文字について
以下の半角英数字／記号が入力できます。
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ （スペース）

STEP5

［登録］ボタンをクリックします。
→文字情報が登録されます。

STEP6

［閉じる］ボタンをクリックします。
→「テキスト表示・編集」画面が閉じます。

履歴を確認する

以下の履歴を確認できます。
- 障害発生の履歴
- 本機へのアクセス履歴
- イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）
- ネットワークの障害履歴

障害発生の履歴を確認する

本機の障害発生の履歴を一覧で表示します。

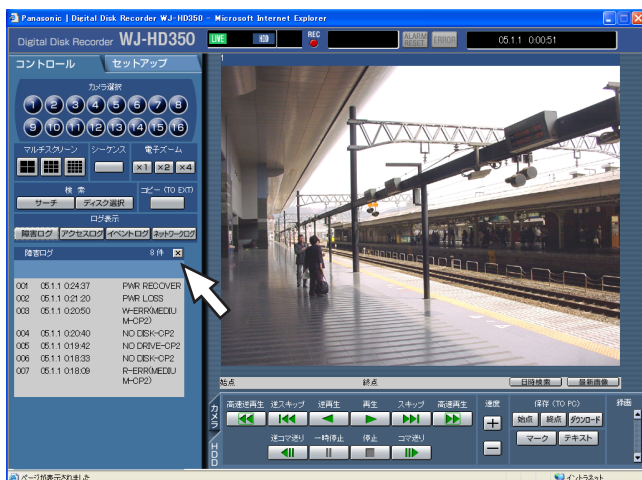
画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［ログ表示］ボックスにある［障害ログ］ボタンをクリックします。

画面2

［コントロール］タブの下に障害発生の履歴（「障害ログ」画面）が一覧表示されます。障害ログの内容については次ページをお読みください。

STEP2

「障害ログ」画面を閉じるときは、［×］ボタンをクリックします。

障害ログの内容について

表示	表示解説	障害内容
AL＊-YYMMDDhhmmss	＊はカメラCH番号 YYMMDDhhmmssは、改ざん検出された個所の再生年月日時刻	改ざん検出
V-ERROR	V-ERROR EVTはイベント領域 V-ERROR NMLは通常領域 V-ERROR CPYはコピー領域 V-ERROR PRE-XXはプレ録画領域（XはカメラCH番号）	録画領域の消失
W-ERR X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体／ユニット番号 Yは本体／ユニット内のディスク番号	HDDライトエラー
R-ERR X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体／ユニット番号 Yは本体／ユニット内のディスク番号	HDDリードエラー
1DOWN X-Y	Xは録画対象から外れたディスクが所属するユニット番号 Yはユニット内のディスク番号	RAIDモード運用中のHDD故障（HDD交換、復旧が可能）
REMOVE X-Y	Xは録画対象から外れたディスクが所属する本体／ユニット番号 Yは、本体／ユニット内のディスク番号	自動リンク外し
#-FULL	#はHDDパーティション名／外部記憶装置接続端子	残容量なし
THERMAL-X	Xは温度異常発生箇所（本体／ユニット）	温度異常
FAN X-Y	Xは本体／ユニット番号 Yはファン番号（1～4） 増設ユニットのファン異常に対しては、Yを省略する	ファン異常
#-nn%	#はHDDパーティション名／外部記憶装置接続端子 nnは残容量（パーセント）	残容量警告
SMART X-Y（※）	Xはエラー発生ディスクが所属する本体／ユニット番号 Yは、本体／ユニット内のディスク番号	HDD SMARTエラー
PWR LOSS		停電検出
H.METER X-Y	Xはエラー発生ディスクが所属する本体／ユニット番号 Yは、本体／ユニット内のディスク番号	アワーメーター警告
PROTECT-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアライトプロテクト
NO DISK-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディア未挿入
MEDIUM-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアが未対応メディア
UNFORMATTED-#	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディア未フォーマット
W-ERR(MEDIUM-#)	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアライトエラー
PWR RECOVER		停電復旧
HDD ERROR		HDDエラー
M-FAIL MAIN-X	Xは本体のディスク番号	ミラー復旧失敗
R-FAIL X	Xは増設ユニット番号	RAID復旧失敗
NO DATA-#	#は外部記憶装置接続端子	手動コピー設定エラー（指定時間帯に映像なし）
NO DRIVE-#	#は外部記憶装置接続端子	コピードライブ未接続
R-ERR（MEDIUM-#）	#は外部記憶装置接続端子	コピーメディアリードエラー

- （※）以下のいずれかの場合、該当HDDを交換してください。
  - ・モニター2のエラー表示部に「SMART」が表示されている場合
  - ・障害ログに同じHDD（RAIDモード時は同じ増設ユニット）の「SMART」が2つ以上表示されている場合
- 障害ログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新ログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。

本機へのアクセス履歴を確認する

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、IPアドレスを表示します。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［ログ表示］ボックスにある［アクセスログ］ボタンをクリックします。

画面2

［コントロール］タブの下にアクセスの履歴（「アクセスログ」画面）が一覧表示されます。

アクセスログの内容について

＊＊IN　：「IN」の前に記述されているユーザーまたはホストがログイン

＊＊OUT　：「OUT」の前に記述されているユーザーまたはホストがログアウト

＊＊にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

STEP2

「アクセスログ」画面を閉じるときは、［×］ボタンをクリックします。

● アクセスログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

イベント発生の履歴を確認する

イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。
各イベント内容の詳細については46ページをお読みください。

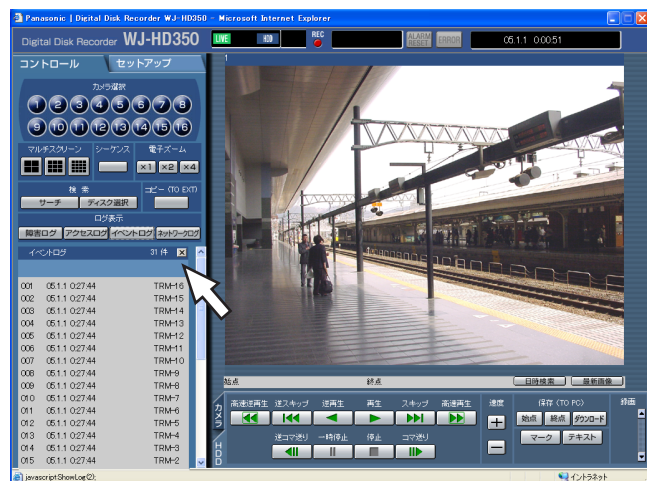
画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［ログ表示］ボックスにある［イベントログ］ボタンをクリックします。

画面2

［コントロール］タブの下にイベント発生の履歴（「イベントログ」画面）が一覧表示されます。

イベントログの内容について

COM　：コマンドアラーム
EMR　：緊急録画
LOSS　：ビデオロス
TRM　：端子アラーム
VMD　：動き検出

STEP2

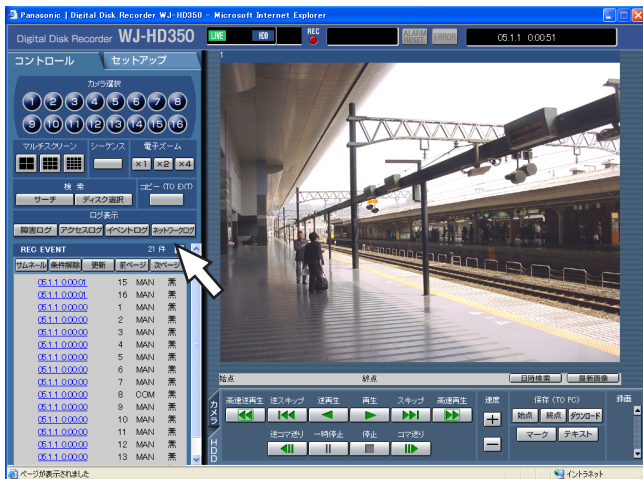
「イベントログ」画面を閉じるときは、［×］ボタンをクリックします。

- イベントログは最大750件まで登録されます。750件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

ネットワークの障害履歴を確認する

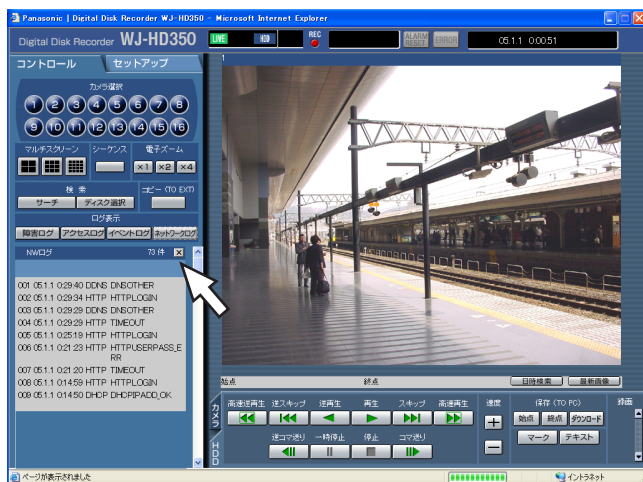
ネットワークの障害発生の履歴（発生日時、障害内容）を一覧で表示します。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

［コントロール］タブの［ログ表示］ボックスにある［ネットワークログ］ボタンをクリックします。

画面2

［コントロール］タブの下にネットワークの障害発生の履歴（「NWログ」画面）が一覧表示されます。ネットワークの障害ログの内容については次ページをお読みください。

STEP2

「NWログ」画面を閉じるときは、［×］ボタンをクリックします。

- ネットワークログは最大1000件まで登録されます。1000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新のネットワークログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。

ネットワークの障害ログの内容について

表示	障害内容
SMTPMAIL_SEND	電子メール送信
SMTPATTEST_ERR	認証エラー
SMTPPOP3ADD_ERR	DNSからPOP3サーバーアドレス解決できず
SMTPPOP3SVR_ERR	POP3サーバー見つからず
SMTPSVRADD_ERR	DNSからSMTPサーバーアドレス解決できず
SMTPSVR_ERR	SMTPサーバー見つからず
SMTPMAILFROM_ERR	MAIL FROMコマンドエラー
SMTPRCPTTO_ERR	RCPT TOコマンドエラー
SMTPOTHER	SMTPその他のエラー
FTPCLIENT_OK	クライアント送信成功
FTPSVRFWD_OK	サーバー転送成功
FTPSVRADD_ERR	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず
FTPSVR_ERR	FTPサーバー見つからず
FTPUPLOAD_ERR	FTPアップロード転送エラー
FTPPASSIVE_ERR	Passiveモードでのエラー
FTPLOGIN_FAULT	ログイン失敗
FTPLOGOUT_FAULT	ログアウト失敗
FTPOTHER	FTPその他のエラー
DDNSIPADDUPDATE_OK	IPアドレスアップデート
DDNSSVRRES_ERR	サーバー応答なし
DDNSUSERPASS_ERR	ユーザー名パスワードエラー
DNSIPADDUPDATE_ERR	IPアドレスアップデートエラー
DNSOTHER	DNSその他のエラー
NTPGETTIME_OK	NTPサーバの時刻への同期成功
NTPSVRADD_ERR	DNSからNTPサーバーアドレス解決できず
NTPSETTIME_ERR	時刻設定失敗
NTPSVRRES_ERR	サーバー応答なし
NTPOTHER	NTPその他のエラー
SNMPSEND_OK	送信成功
SNMPUSERPASS_ERR	ユーザー名パスワードエラー
SNMPOBJ_ERR	SNMPオブジェクト取得失敗
SNMPOTHER	SNMPその他のエラー
DHCPIPADD_OK	IPアドレス取得
DHCPIPADD_LOST	IPアドレスロスト
DHCPIPADDUPDATE_ERR	IPアドレスアップデート失敗ｘｘ％
DHCPIPADDENT_ERR	IPアドレス登録失敗
DHCPOTHER	DHCPその他のエラー
HTTPLOGIN	ログイン
TIMEOUT	タイムアウト
HTTPUSERPASS_ERR	ユーザー名／パスワードエラー
HTTPDOWNLOAD_ERR	ダウンロード失敗
HTTPDREQUEST_ERR	要求無効
HTTPUNAUTHORIZED	権限なし
HTTPOTHER	HTTPその他のエラー

再生映像をダウンロードする

再生している映像の開始位置と終了位置を指定して、PCに映像をダウンロードします。
再生映像をダウンロードすると、映像データファイル（ファイル名.h3r）としてダウンロードされます。ダウンロードした映像の再生方法については66ページをお読みください。

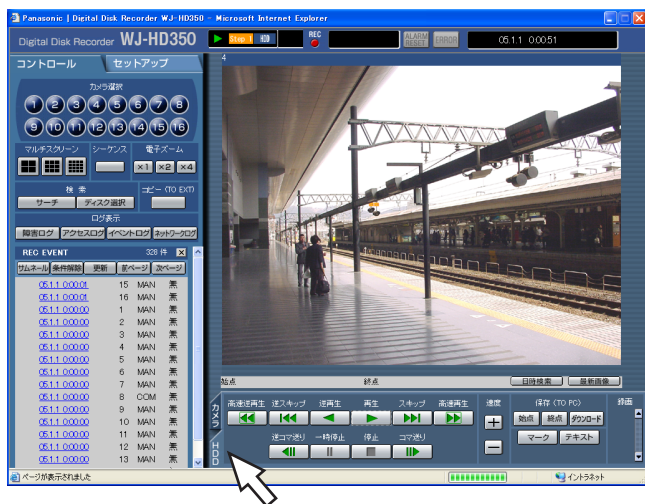
- PCのファイルシステムがFAT32の場合は、一度にダウンロードするファイルのサイズは4 GB未満にしてください。
  ファイルサイズの目安は以下のとおりです。
  ・解像度：FRAME、カラーモード：COLOR FINE、画質：SFB、録画レート：30 ips、
  ダウンロードする時間範囲：30分→約4 GB
  ・解像度：FIELD、カラーモード：COLOR STD、画質：FQB、録画レート：3 ips、
  ダウンロードする時間範囲：10分→約30 MB
- ダウンロードするときは、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量※が必要となります。　※Internet Explorer の制限事項です。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

画面1

録画映像を1画面で再生している画面から操作します。

STEP1

［HDD］タブをクリックします。

画面2

［HDD］タブが前面に表示されます。

STEP2

ダウンロードを開始したい再生位置で［保存（TO PC)］ボックスの［始点］ボタンをクリックします。
→再生位置操作部に設定した始点の日時が表示されます。

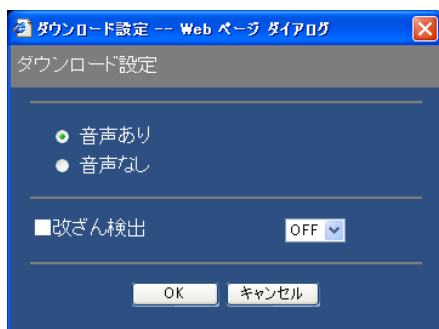
STEP3

ダウンロードを終了したい再生位置で［保存（TO PC)］ボックスの［終点］ボタンをクリックします。
→再生位置操作部に設定した終点の日時が表示されます。
一度にダウンロードできる時間は最大99分59秒です。

STEP4

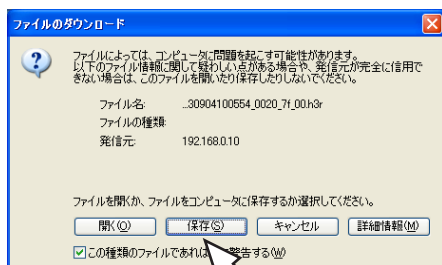
［ダウンロード］ボタンをクリックします。

画面3

ダウンロード設定画面が表示されます。

STEP5

ダウンロードするデータの音声のあり／なしと、改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかをON／OFFで選択し、［OK］ボタンをクリックします。

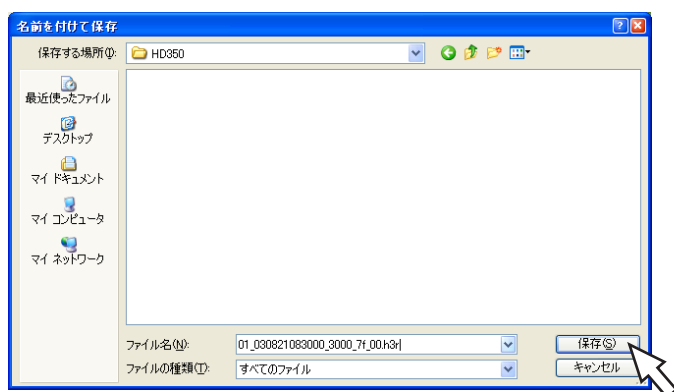
画面4

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

STEP6

［保存］ボタンをクリックします。

- STEP5で「音声あり」にチェックを入れた場合は、映像データダウンロード後、再度ダウンロード画面が表示されます。

画面5

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

STEP7

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、［保存］ボタンをクリックします。

→映像データ（ファイル名.h3r）、音声データ（ファイル名.h3a）がダウンロードされます。

- 情報バーにメッセージが表示される場合は76ページをお読みください。
- 多画面表示で再生しているときは、映像をダウンロードできません。

ダウンロードした映像を操作する

再生映像をダウンロードすると、映像データ（ファイル名.h3r）がダウンロードされます。ダウンロードした映像データはCD-ROM内のビューワーソフトを使って再生、保存、印刷ができます。

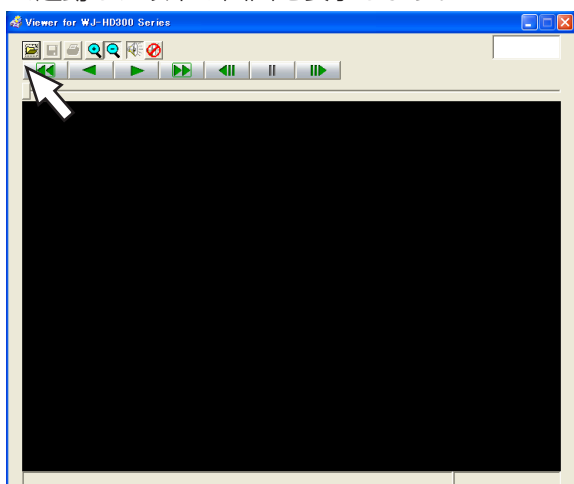
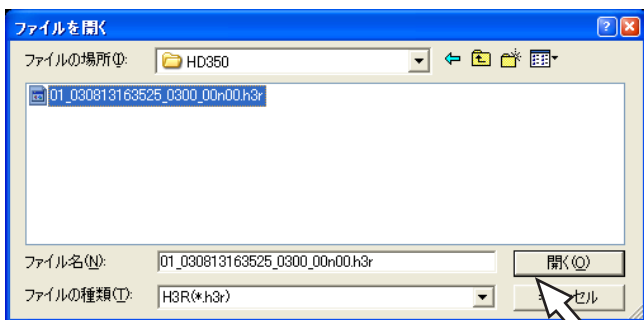
映像を再生する

画面1

CD-ROM内のビューワーソフトをダブルクリックして起動し、以下の画面を表示します。

STEP1

［ファイルを開く］ボタンをクリックします。

画面2

「ファイルを開く」画面が表示されます。

STEP3

STEP2

ダウンロードした映像データ（ファイル名.h3r）を選択します。

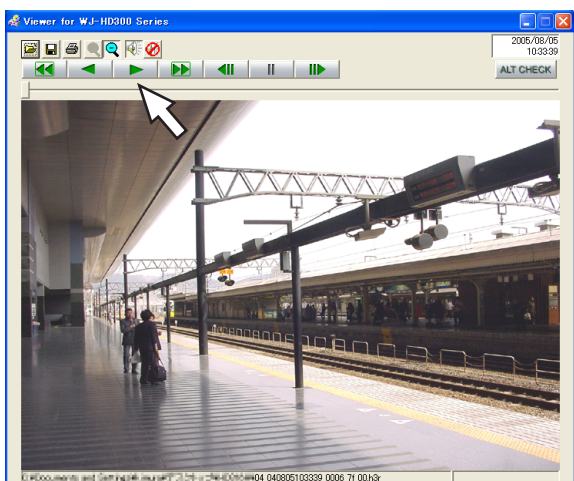
STEP3

［開く］ボタンをクリックします。

画面3

映像が表示されます。

STEP4

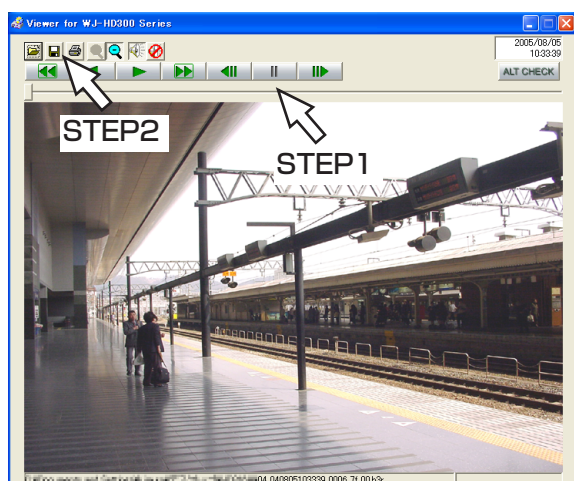
再生ボタンを押します。

- ビューワーソフトの日時表示には、サマータイム期間中を示す「＊」は表示されません。
- 音声の最後の数秒が再生されない場合がありますが、故障ではありません。
- ダウンロード時間が短い音声付きのコピーデータを再生したとき、音声が出力されない場合があります。
- 映像と音声の同期がずれる場合があります。
- G04ファイル（アラームメール添付ファイル）を再生するときは、録画レートは2 ipsに固定されます。

- 再生しようとして「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」というメッセージが表示された場合、76ページをお読みください。

画像を保存する

表示している画像をPCにbmpファイルまたはjpegファイルとして保存します。保存はビューワーソフトで再生一時停止中に行います。

画面1

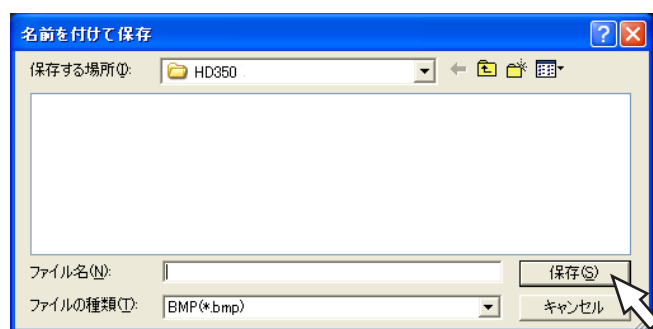
ビューワーソフトで再生を行っている画面から操作します。

STEP1

再生一時停止ボタンをクリックします。

STEP2

保存ボタンをクリックします。

画面2

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

STEP3

ファイル名を入力し、ファイル形式（BMPまたはJPG/JPEG）を選択します。

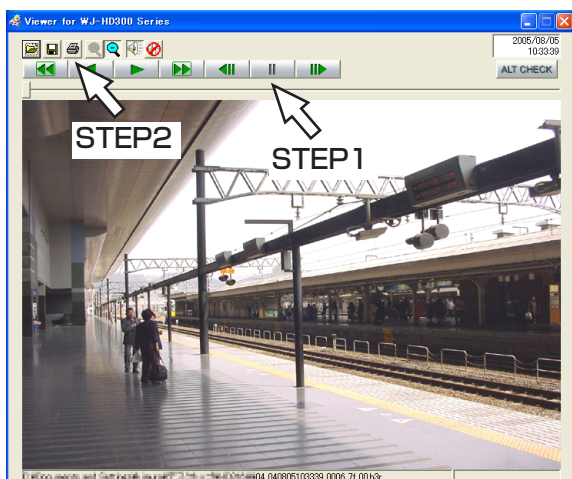
STEP4

保存先を確認し、［保存］ボタンをクリックします。
→画像データが保存されます。

画像を印刷する

ビューワーソフトで再生一時停止中に、表示している画像をプリンターで印刷します。

画面1

ビューワーソフトで再生を行っている画面から操作します。

STEP1

再生一時停止ボタンをクリックします。

STEP2

印刷ボタンをクリックします。

- h3rファイルの画像を印刷すると、再生一時停止の日時も印刷されます。

画面2

印刷時の画像の出力サイズを選択する画面が表示されます。

STEP3

印刷時の画像の出力サイズを指定し、［OK］ボタンをクリックします。

L　：余白まで引き伸ばして出力します。
M　：縦と横がLの2/3の大きさで出力します。
S　：縦と横がLの1/2の大きさで出力します。

お買い上げ時の設定：M

改ざん検出を行う

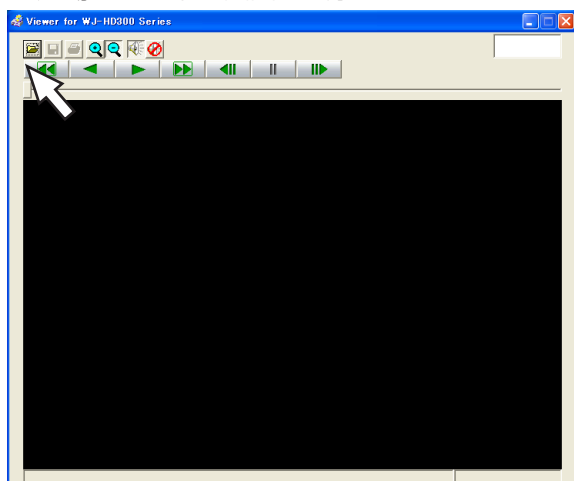
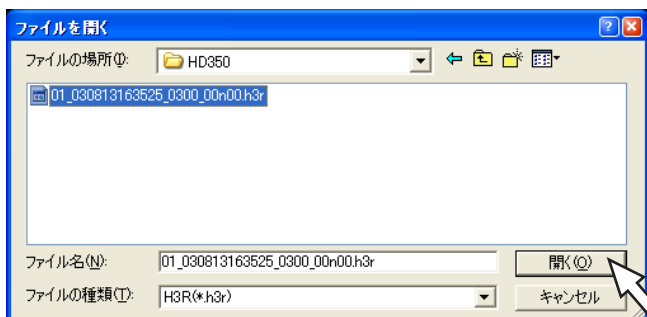
映像のコピー時やダウンロード時に改ざん検出用のデータを付けるよう設定されているデータの改ざん検出を行います。改ざん検出用のデータを付ける操作方法については50、65ページをお読みください。

画面1

CD-ROM内のビューワーソフトをダブルクリックして起動し、以下の画面を表示します。

STEP1

［ファイルを開く］ボタンをクリックします。

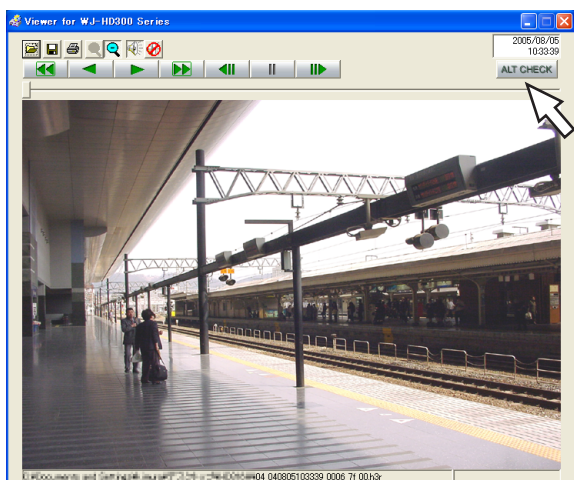
画面2

「ファイルを開く」画面が表示されます。

STEP2

ダウンロードした映像データ（ファイル名.h3r）を選択します。

STEP3

［開く］ボタンをクリックします。

画面3

映像が表示され、データの先頭画像が一時停止して表示されます。

STEP4

［ALT CHECK］ボタンをクリックします。

→改ざん検出が開始されます。
改ざん検出開始後に以下のメッセージがポップアップ表示されます。

OK(Not Altered)	改ざんが検出されませんでした。
NG(Altered)	改ざんが検出されました。

● ［ALT CHECK］ボタンは改ざん検出が可能な映像データを開いているときのみ表示されます。

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機内に保存されたアラーム映像へのリンクアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

HD350（192.168.0.250）でアラームが発生しました。
発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx （例2005-1-1 12:00:00）
アラーム要因：アラーム内容とカメラCHまたはアラーム番号を表示（例：VMD 5CH）
アラーム画像ファイル名：電子メールに添付されているファイル名
URL：http://192.168.0.250/

アラームメールの内容をカスタマイズする

イベントの発生とその日時をお知らせするアラームメールの内容はカスタマイズすることができます。
以下の手順で操作してください。

STEP1

メール本文をテキストエディタで作成し、テキスト形式で保存します。
表示させたい項目（イベント発生日時やアラーム要因、ホストアドレスなど）によって、入力する文字が異なります。メール内容を作成する際、次ページの置換文字一覧を参考にしてください。ファイル名は「almmail.tmpl」にして保存します。

STEP2

FTPソフトを起動し、本機のIPアドレスを入力して本機に接続します。
ユーザー名、パスワードは以下のように設定します。
ユーザー名： ADMIN
パスワード： セットアップメニューで設定したADMINパスワード（初期値：12345）
ユーザー名、パスワードの設定についてはシステムの管理者にご確認ください。

STEP3

作成したファイル（almmail.tmpl）をテキスト形式で転送します。
転送先は、/user/HD300/HTML_FILESです。

置換文字一覧

表示させたい項目	入力文字	表示形式／表示例
アラーム発生年（4桁）	%#05000000	西暦4桁表示（2003〜2099）
アラーム発生月（数字）	%#05000100	最大2桁表示（1〜12）
アラーム発生月（文字）	%#05000200	英語の頭3文字表示（Jan、Feb、.....Dec）
アラーム発生日	%#05000300	最大2桁表示（1〜31）
アラーム発生時間	%#05000400	24時間表示（15：00：00）
送信者メールアドレス	%#05000500	
HD350のホスト名	%#05000600	
HD350のIPアドレス	%#05000700	192.168.0.250
アラーム要因	%#05000800	端子：Terminal　VMD：VMD　コマンド：Command ビデオロス：VideoLoss　緊急録画：Emergency
アラーム番号	%#05000900	最大数字2桁（1〜16）（WJ-HD309は1〜9）＋CH
アラーム画像ファイル名	%#05001000	xx_ALMyyyynnddhhmmss.G04 ファイルが存在しない場合は空白 xx：カメラCH番号 yyyynndd：イベント発生日付 hhmmss：イベント発生時、分、秒
URL	%#05001100	ホスト名.ドメイン名：HTTPポート番号/ ●ホスト名、ドメイン名が設定されているとき（DDNS　OFF時） ●DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できているとき（DDNS　ON時） IPアドレス：HTTPポート番号/ ●ホスト名、ドメイン名が設定されていないとき（DDNS　OFF時） ●DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できていないとき（DDNS　ON時） ただし、HTTPポート番号が80に設定されているときは「：HTTPポート番号」が省略されます。

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

> HD350(192.168.0.250) 状態通知
> 日時：2005-1-1　12:00:00
> 状態：障害の内容を表示（例：THERMAL ERROR）

表示	説明	
日時	障害が発生した日時をあらわします。	
状態	以下の障害の内容をあらわします。	
	温度異常	：THERMAL ERROR
	改ざん検出	：ALTERED
	録画領域の消失	：V-ERROR EVTはイベント領域 V-ERROR NMLは通常領域 V-ERROR CPYはコピー領域 V-ERROR PRE-XXはプレ録画領域（XはカメラCH番号）
	HDDライトエラー検出	：DISK ERROR XX XXはディスク番号（通し番号）
	HDDスマート警告	：DISK WARNING XX XXはディスク番号（通し番号）
	HDD残容量警告※1	：＜FULL以外＞ HDD-NORMAL CAPACITY REMAINS ＊＊% HDD-EVENT CAPACITY REMAINS ＊＊% ＊＊は設定値(%)～1 ＜FULL時＞ HDD-NORMAL IS FULL HDD-EVENT IS FULL
	HDDアワーメーター警告	：HDD HOUR METER WARNING
	停電検出	：POWER LOSS
	自動リンク外し	：LOGICALLY REMOVED HDD XX XXはディスク番号（通し番号） 1DOWN
	ファン異常	：FAN ERROR
	コピーメディア異常	：MEDIUM ERROR
	その他の異常	：UNDEFINED ERROR
	HDD エラー	：HDD-ERROR
	ミラー復旧失敗	：MIRROR RECOVERY FAILURE X Xは本体ディスク番号
	RAID復旧失敗	：RAID5 RECOVERY FAILURE X-Y Xはユニット番号　Yはディスク番号

HDD残容量警告について

残容量がセットアップ「メンテナンス」の「残容量警告」で設定した値に達したら、<FULL以外>の内容で障害メールを送信します。以降、残容量が1 %減少するたびに、<FULL以外>の内容で障害メールを送信し、残容量がなくなったら、＜FULL時>の内容で障害メールを1回送信します。

- 障害メールの内容はカスタマイズすることはできません。

エラーメールについて

HDDのコピー領域、外部記憶装置（DVD-RAMドライブ／DVD-Rドライブ／CD-Rドライブ／外付けHDD／SDメモリーカード）の残容量が設定値以下、または容量がなくなったとき、あらかじめ設定したメールアドレスに以下の内容の電子メールで通知します。

HD350(192.168.0.250) 状態通知
日時 ：2005-1-1　12:00:00
状態 ：エラーの内容を表示（例：HDD-COPY CAPACITY REMAINS 10%）

表示	説明
日時	発生した日時をあらわします。
状態	コピー対象ディスク残容量警告のエラーの内容をあらわします。 <FULL以外> HDD-COPY CAPACITY REMAINS ＊＊% COPY1 CAPACITY REMAINS ＊＊% COPY2 CAPACITY REMAINS ＊＊% ＊＊：設定値(%)〜1 <FULL時> HDD-COPY IS FULL COPY1 IS FULL COPY2 IS FULL

● エラーメールの内容はカスタマイズすることはできません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは設定・工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ブラウザーからアクセスできない	●ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-Txケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	−
	●ネットワークポートの接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	−
	●有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 > ping“本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	−
	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照
	●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照

症　状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
映像が更新されない	●ネットワークの混み具合などにより、映像の表示が止まる場合があります。キーボードの［F5］ボタンを押して、映像を再度取得してください。	–
基本操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない	●正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ユーザー名、パスワードを確認してください。	取扱説明書 ネットワーク設定編参照
ビューワーソフトで再生中に音声がとぎれる	●録画レートの高い映像を再生しているとき、音声がとぎれる場合があります。	–
ダウンロードした映像を再生できない	●再生映像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた映像は再生できません。	–
サイズ・残容量ともに正常に表示されているのにコピーが中断される	●まず、再生ができるか確認してください。HDDが故障したときなど、再生できないリストが残る場合があります。HDDを交換してください。再生できないリストは手動で消去できます。交換したHDDのデータについては販売店にご相談ください。	–

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

症　状	対応方法	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	6、7
下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic Corporation'からの'HD300A CTL.cab' インストールするには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	7

症　状	対応方法	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード(D)...」を選択してください。 上記の操作を行ってもダウンロードできない場合には、以下の操作を行ってください。 Internet Explorerの［ツール(T)］－［インターネットオプション(O)...］－［セキュリティ］タブ－［レベルのカスタマイズ(C)...］ボタンをクリックしてセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	65
ダウンロードしたファイルを実行しようとすると、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」	●［実行(R)］ボタンをクリックしてください。	66
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	●Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「その他」－「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	20、22、25～26、28～30、33、45、50、57、64～65

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（パナハ ヨイワ）　受付：9時〜18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	WJ-HD350シリーズ
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社

〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

V8QB6447EN
N0506-4108

Panasonic®

デジタルディスクレコーダー　WJ-HD350シリーズ　取扱説明書　ネットワーク操作編